

科目名	文章表現論		
担当教員名	稲葉 美樹		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

友人同士のメールのような気楽な文章は書くことができても、形式の整った文章を書くことは苦手、という人は少なくないのではないだろうか。しかし、自分の気持や考えを他者に伝えるという点においてはどちらも変わらないはずである。それなのに後者を苦手と感じるのは、文章化する方法が十分に身につけていないためであろう。本講義では、文章を書くことに関する基本的なルールを学び、さらに、練習問題を解いたり、実際に文章を書いてみたりすることによって、それを自分のものとすることを目標とする。

内容

文章を書くための基本的なルールについて講義をし、その後、練習問題を解いたり、実際に文章を書いたりしてもらう。主な講義内容は、以下の通り。

- 文章とは
- 原稿用紙の使い方
- 用語・表記
- 文章を書く手順
- 表現の工夫
- レポートの書き方
- 敬語
- 手紙の書き方

評価

長いレポート50点、短いレポート20点、手紙20点(ただし、3点すべてを提出しなければ不合格)、出席と授業中の態度10点により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

必要に応じてプリントを配布する。

科目名	文章表現論		
担当教員名	稲葉 美樹		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

友人同士のメールのような気楽な文章は書くことができても、形式の整った文章を書くことは苦手、という人は少なくないのではないだろうか。しかし、自分の気持や考えを他者に伝えるという点においてはどちらも変わらないはずである。それなのに後者を苦手と感じるのは、文章化する方法が十分に身につけていないためであろう。本講義では、文章を書くことに関する基本的なルールを学び、さらに、練習問題を解いたり、実際に文章を書いてみたりすることによって、それを自分のものとすることを目標とする。

内容

文章を書くための基本的なルールについて講義をし、その後、練習問題を解いたり、実際に文章を書いたりしてもらう。主な講義内容は、以下の通り。

- 文章とは
- 原稿用紙の使い方
- 用語・表記
- 文章を書く手順
- 表現の工夫
- レポートの書き方
- 敬語
- 手紙の書き方

評価

長いレポート50点、短いレポート20点、手紙20点(ただし、3点すべてを提出しなければ不合格)、出席と授業中の態度10点により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

必要に応じてプリントを配布する。

科目名	文章表現論		
担当教員名	中川 秀太		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

会話では、聞き手の理解にあわせて、その場で言い換えたり訂正したりする、といった行為が可能であるが、書き言葉には、そのような過程が含まれないため、書き手はできる限り、誤りや不適切な表現のない、整った文章をねりあげていく必要がある。他人の書いたものを読むのは、なかなか大変な作業である。それゆえ、「読み易さ」に配慮することは、とても大切である。

授業では、他者にとって読み易い文章を書くために、欠かすことのできない技術の獲得を目標とする。

内容

文章を書く上で、必要となる基礎的な事項を講義にて解説し、文章の実作や文章校正を行ってもらう。主に講義であつかう内容は以下の通りである。

文章の構成

書き言葉に用いる語彙

敬語

表記ルール

記号の使い方

文章校正の方法

文章の書き方(レポート、コラムなど)

評価

出席30%、授業態度20%、テスト50%により、総合的に評価する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

『大学生のための日本語表現トレーニング：テキスト・スキルアップ編』(三省堂)

科目名	日本文学史		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状(国語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

教養として知っておきたい作家や作品を紹介しながら、それらの時代背景、メディアの仕組み、文壇形成の条件など、「文学史」を多角的に学ぶことを目的としています。

内容

1	開化期文学
2	近代化のための、さまざまなプログラム
3	(復習)
4	浪漫主義
5	日露戦後文学
6	言文一致体の確立
7	自然主義
8	日露戦争と漱石・? 外
9	学閥と雑誌の時代
10	早稲田ジャーナリズム～大正3年を中心に～
11	映画『華の乱』
12	映画『華の乱』つづき
13	モダニズム
14	危機をはらんだ時代
15	テスト

評価

出席50点、学期末のペーパーテスト50点。合計60点以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】内田保男・石塚秀雄編集代表『増補版・社会人のための国語百科〔カラー版〕』(大修館書店)

後期の受講予定者も、できるだけ前期に購入しておいてください。

科目名	近代語研究		
担当教員名	中川 秀太		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本語では、ひらがな、カタカナ、漢字、そして記号・絵文字など、様々な表記手段を用いて「書く」行為を行っています。普段の生活の中では、「こんにちは」と「こんにちわ」はどちらが正しいのかとか、「メイド喫茶」の「メイド」が新聞や雑誌では「メイド」と書かれているのはどうしてか、とかいった疑問を持つこともあると思います。これらが日本語の表記の問題であり、ごく身近なテーマだといえるでしょう。私事ですが、代官山にあるMalaysia大使館に「マレーシア」ではなく「マレイシア」と記されているのを最近目にして、珍しく思った経験があります。他にも、例えば「とりかえちゅう」は「取り替え中」「取替え中」「取替中」のどれが適当なのかなど、例を挙げればきりがありませんが、これらの書き方がされているのには、それなりの理由があります。それを明らかにし、私たちの現在の表記、そしてこれからの表記について考えることを授業のねらいとしています。

内容

1. 授業ガイダンス
2. 日本語の表記における特徴
3. 国語問題の歴史
4. 戦後の国語施策
5. 漢字(当用漢字表、常用漢字表など)
6. 漢字とひらがな・カタカナとの関係
7. 送り仮名(送り仮名の付け方)
8. 仮名遣い(現代仮名遣い)
9. ローマ字
10. 外来語
11. 戦後の表記の変化
12. 表記の未来
13. 身の回りにある文字や記号について(看板、道路標識、字幕、商品ラベルなどの表記)
14. 表記と校正(文章を直す方法を考える)
15. 期末試験

評価

出席30%、授業態度20%、テスト50%により総合的に評価します。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】『ことばの表記の教科書』(ベレ出版)

科目名	音声表現論		
担当教員名	好本 恵		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状(国語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本語の教育のなかでこれまであまり熱心に行われてこなかった「読む」「話す」「聞く」などの音声表現に注目する。文学作品などを声に出して朗読し、作品をより深く味わう。演習で発音や発声、アクセントや鼻濁音などの日本語の音声表現の基礎も同時に学びたい。

内容

1. 腹式呼吸、発音発声の基礎を学ぶ。
2. 文章を声に出して朗読するときの基本を学ぶ。
3. 詩・エッセイ・小説・俳句・短歌などを朗読する。
4. 絵本や昔話の「読み聞かせ」を学ぶ。
5. 日本語の音声表現について考える。

評価

日ごろの演習の成績30点、出席点30点、レポート40点により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】好本恵著『話しことばの花束』(発行:リヨン社、定価1700円)

【推薦書】半谷進彦・佐々木端『基礎から学ぶアナウンス』(発行:NHK出版、定価1200円)

【参考図書】『新版NHKアナウンス・セミナー』(発行:NHK出版、定価2000円)

科目名	日本文学特講		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状(国語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

今のわたしたちが抱える問題であり、また永遠の問題ともいえるもののひとつに人間の死ということがあります。現代の高度な医療技術の発達によって人間の寿命は確かに長くなりましたが、一方で脳死と臓器移植の問題、尊厳死・終末期医療の問題などが浮上しています。また近代科学の発達によって、来世・あの世という死後の世界が否定されたことは、死から絶対的な安心を奪うことになりました。それは生きることの意味合いをも変えてしまったでしょう。古典とは過去に書かれた書物であるとともに、それを読むことによって現在を考えるヒントをはらむものです。現代のわれわれにとっての死と生をとらえかえすために日本の古典文学を読みたいと思います。

内容

- (1) 日本神話のなかの死と生
(生と死の起源、イザナギ・イザナミの黄泉国訪問神話、死体化生神話、オオクニヌシ神話と成人式儀礼)
 - (2) 万葉集のなかの死と生
(挽歌と葬歌、殯宮儀礼と皇子挽歌、万葉びとの死生観・靈魂観)
 - (3) 地獄と極楽の思想
(神話的世界観の変容、靈異記の「冥界」の構造、往生要集の「地獄」「極楽」、王朝びとの死と生)
- 講義内容は必要に応じて変更することがあります。

評価

テスト60%、平常点(小レポートなど)30%、出席点10%の配分で評価します。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキスト：開講時に指示します。

参考文献：授業中随時紹介します。

科目名	日本文学講義		
担当教員名	稲葉 美樹		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本文学において、和歌は長い間中心的な存在であった。他のジャンルの作品も、和歌に関する知識が皆無では正しく理解することはできない。しかし、高校までで和歌について学ぶ機会は多くはなかったと思う。そこで、この講義では、上代から現代までの和歌を読んで和歌に関する基本的な知識を身につけることを最低限の目標とする。さらには、一口に和歌といっても、時代によって大きく特徴が異なるので、その違いを実感してほしい。また、その一方で、和歌を読んでいると、古代の人も現代の私たちと少しも変わらない心を持っていることに気づくはずである。従って、和歌作品を十分に味わい、私たちの心の中にもあるはずの、日本人が培ってきた美意識を見つめる機会としたい。

内容

前期(回数めやす)

第1回 和歌を解釈する上で必要な、基本的なことについて解説する。

第2回～第6回 『万葉集』を読む。

第7回～第14回 中古の和歌を、勅撰集を中心に読む。

後期

第1回～第7回 中世の和歌を、『新古今集』とその時代の歌人の私家集、および京極派歌人の作品を中心に読む。

第8回～14回 近世～現代までの和歌を読む。

評価

期末試験(2回)60点、出席状況20点、授業中の態度20点で、総合的に判断する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】神野志隆光・芳賀紀雄他編『和歌文学選 歌人とその作品』(和泉書院)

科目名	日本文学講義 A		
担当教員名	赤間 恵都子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本を代表する物語文学といえば、なにはともあれ『源氏物語』でしょう。絶世の美男子でオールマイティなあの光源氏の話です。光源氏はプレイボーイだから嫌いだという現代女性の意見をよく聞きますが、彼が生まれた時代背景は、現代とは全く異なる絶対的な身分制社会でした。皇子という最高の血筋を引いた理想的な男性に声をかけられただけで、誰もが舞い上がってしまう時代です。多くの女性達が光源氏を一目見ることを望み、彼を恋い慕いました。

そんな光源氏の妻になり、最も長い時間を共に過ごしたのが紫の上です。成長して正妻の位置を確保したと安心した途端に、夫が自分以外の女性との間に子供を作ったり、身分の高い新しい妻を迎えて苦しみます。やはり人間の気持ちは今と変わりませんね。そう、『源氏物語』が時には映画や漫画や宝塚歌劇など様々なメディアを通して現代に受け入れられているのは、人間の心の真実が時代を超えて伝わってくるからなのです。それこそ作者紫式部がこの物語を書いた目的でした。永遠の古典作品を、原文を味わいながら一緒に読んでいきましょう。

内容

使用するテキストは、物語中のいくつかの場面をピックアップしながら全体の概要がわかる形になっています。以下、テキストの目次に沿って、各時間の授業内容を書いておきます。

1	ガイダンス
2	作者について
3	作品の概要
4	物語の始まり
5	桐壺の更衣(桐壺巻)
6	雨夜の品定め(帚木巻)
7	隈なき月影(夕顔巻)
8	紫のゆかり
9	若紫の君(若紫巻)
10	心の鬼(紅葉賀巻)
11	車争い(葵巻)
12	野宮の一夜(賢木巻)
13	心づくしの秋(須磨巻)
14	母子の別離(薄雲巻)
15	前期まとめ

評価

出席率・平常点40点、ペーパーテストまたはレポート60点

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】秋山虔他編『源氏物語読本』筑摩書房

【参考図書】『源氏物語』の参考文献はとてもたくさんあるので、授業で適宜紹介します。

科目名	日本文学講義		
担当教員名	平野 多恵		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

中世文学を代表する随筆『徒然草』を一段ずつ丹念に読み進め、作者兼好の生きた時代への歴史的な知識を深めながら、兼好の考えを理解する。兼好と現代を生きる私たちとの共通点・相違点を明らかにしつつ、周辺資料にも目配りして、生きた古典として『徒然草』を読むことを目指す。

内容

第1・2回 兼好法師とその時代

『徒然草』の作者兼好法師の人生と時代背景を概観する。

第3回 『徒然草』について

『徒然草』がどのような作品かを解説する。

第4回～ 序段から『徒然草』に特徴的な章段を適宜選んで講読する。

前後の章段との関連に注意しながら丁寧に読み進め、兼好の考えを理解してゆく。

『徒然草』には、理想の人物像・男性・女性・子ども・友人・住まい・旅等々、現代に通じる興味深い話題が数多く載っている。それらの話題に絡め、折に触れて質問や課題を出す。授業中に書いて提出してもらい、兼好と自分がどのように重なり、どのように異なるのかを具体的に考える手がかりとする。

評価

平常の受講態度(10点)・授業中に提出する課題(30点)・学年末のペーパーテスト(60点)によって、総合的に評価する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】稲田利徳編『校注徒然草』(和泉書院)

科目名	日本文学講義		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

人間はなぜ旅にあこがれ出てゆくのでしょうか？<人間にとって旅とは何でしょうか？>あなたはどんなときに、日本の何処へ、世界の何処へ、宇宙の何処へ旅に出てみたいですか？

西洋と東洋におけるさまざまな旅の軌跡を辿ってみましょう。世界にはさまざまな旅を記録した日記や、フィクションをこめた紀行文があります。庶民・芸術家・その他の、現実的な旅、空想旅行、悲しみの旅、静養の旅、留学への旅、芸術創造への旅など、いろいろな種類があります。まず世界の紀行文を興味深くみてみましょう。そのうえで、日本において書かれた数編の紀行文を読んでみましょう。

近世文学（江戸時代）では、女性たちの温泉紀行等も書かれ、上田秋成は家に居ながらにして架空紀行『去年の枝折（こぞのしおり）』を書きました。そして松尾芭蕉は5つの紀行文を書きました。元禄2年の奥州旅行をフィクション化して書いた『おくのほそ道』は、<ひとつの大きな詩である>ともいわれています。また、近代文学（明治時代）の夏目漱石は、英国留学への船旅の数ヶ月間を克明に手帳に記録しています。巨視的な視野のなかで<西洋と東洋の旅の文学>を考え、<芸術にとって旅とはなにか？>を考えつつ、松尾芭蕉の5つの紀行文をたのしく読みながら、その独創性を考えてみましょう。

内容

【前期】

- 1 序 西洋と東洋の旅 / 人間にとって旅とは？
- 2 サン・テグジュペリ 『星の王子様』 ----- 児童文学における旅
- 3 メーテルリンク 『青い鳥』
- 4 セルバンテス 『ドン・キホーテ』 ----- 虚構の旅
- 5・6 スウィフト 『ガリバー旅行記』と宮崎駿 『天空のラピュタ』
- 7・8 アンデルセン 『スウェーデン紀行』 - - - - 地誌・見聞記との比較
- 9・10 西洋と日本の巡礼記 ----- 絵画との比較
- 11・12 『土佐日記』 『東海道中膝栗毛』等 ----- 日本の古典の旅
- 13・14 スペシャル篇
- 15 まとめ

【後期】

- 1 ギャグ・マンガ日和、その他（VTR）
- 2 【芭蕉の生涯】 郷里出奔まで
- 3 深川退隠 漂泊の旅
- 4 【芭蕉の紀行文】
- 5 五紀行文の特色
- 6・7 【『おくのほそ道』の解説】
- 8~13 各章段 VTR
- 14 芥川龍之介「枯野抄」

評価

出席30点、授業態度10点、レポート60点などの評価により、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 穎原退蔵・尾形仿訳注『新版おくのほそ道』（角川ソフィア文庫）

その他、各旅行記については、プリントを配布する。また、参考文献は、授業で紹介する。

科目名	日本文学講義 A		
担当教員名	小嶋 知善		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

現代文学の世界で活躍している女性作家の作品を読解していくことで、彼女たちがどのような観点から現代を切り取っているかを考える。

作品を丁寧に読解していくことで、創作方法や構成や文体の特徴などについても考察する。

川上弘美を中心にして、他には小川洋子・よしもとばなな・江國香織・山田詠美などの作家についても考える。

内容

教科書をもとに、作品(短編小説)を読解していく。長編に関しては、レポート課題として提出してもらい、双方向型の授業を目指し、受講生の作品に関する意見などを取り入れて授業を行う。作品によっては、学生によるレポートもやってもらう。

1. 本授業のガイダンス。
2. 川上弘美「運命の恋人」の読解。
3. 川上弘美「ときどき、きらいで」の読解。
4. 川上弘美「椰子の実」「ざらざら」の読解。
5. 川上弘美「花野」「北斎」の読解。
6. 川上弘美「? 鼠」の読解。
7. 川上弘美「おめでとう」の読解。
8. 川上弘美の長編小説について(『センセイの鞆』文春文庫,2004)。
9. 川上弘美の短編集について(『神様』中公文庫,2001、『蛇を踏む』文春文庫,1999)。
10. 小川洋子の作品について。
11. よしもとばななの作品について。
12. 江國香織の作品について。
13. 山田詠美の作品について。
14. 多和田葉子の作品について。
15. 現代の女性作家について(本授業のまとめ)。

評価

出席の状況および授業での発言など(50%)。レポート課題(50%)。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】川上弘美『はじめての文学 川上弘美』(文藝春秋)

科目名	日本文学講義 B		
担当教員名	萩原 昌好		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

児童文学のうち、日本文学にかかわる作家・作品を扱う。特に近代児童文学に大きな影響を与えた作家・作品を取り上げて、その文学的意義を問うことをねらいとする。今日学生の読書率が低いだけに出来る限り幅広い読書への視野を広げたい。したがって、近現代文学史、及び現代作家に関わる諸文献を予め読んでおくことが望ましい。

内容

主に取り上げる作家は、宮沢賢治、新見南吉であるが、その前にわが国における児童文学とはどのような流れの中で育ってきたか、どのように発展したかを概観する。その後、上記の作家についてその人と、作品を考察することにする。特に児童のための文学論だけにとどまることなく広い視野を持つ必要がある。

評価

レポートおよび出欠によって評価する。出席点50、レポート点50 とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキストについては、必要な研究書、資料および文庫本をもちいることになろう。これらについては最初の授業において指示する。

科目名	書道・書道史		
担当教員名	小林 弘子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状(国語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

私達の生活する環境には、常に私達の美に対する感性が反映されていると思います。文字についても書き手によって個人的に表現されています。当講座では、私達の祖先が漢字から作り出した美しいかな文字を習います。その上で変体がなや連綿等の方法を取り入れながら、表現を多彩に、豊かにして行きます。

変体がなは漢字の草書体から発展したもので、一音にいくつもの文字があります。紙面の構成を考え、その場に適した文字を探り当てて、おもむきのある表現をすることが、かな書道の勉強法だと思います。

まずは、かな文字が極度に発達した平安時代の古筆(平安、鎌倉時代のかなの名筆を古筆という)の臨書練習から、洗練された筆法や美的センスを学びます。そして〔俳句〕や〔短歌〕などを料紙や条幅などに書いて行きます。雅印を彫り、押印して作品を作り、お互いに鑑賞し、研究を深めたい。

内容

1. かな文字の基本を学ぶ。「いろは」から、二字、三字の連綿書きへと練習していきます。
2. 古筆を習う。高野切古今集、関戸本古今集、三色紙など。
3. 源氏物語絵巻より「鈴虫」の段を臨書し、和綴じをして作品とする。(文化祭に展示する)
4. かな作品用の雅印を彫る。(大字作品用と細字作品用)
5. 料紙や画仙紙に俳句や短歌を書く。字形や字配り、墨色など工夫して書いてみる。
お互いに作品を批評し合い、鑑賞眼を養う。

評価

各作品の評価60点、ペーパーテスト30点、授業態度10点により評価を行い、60点以上を合格とする。
但し、各作品の提出とペーパーテストは共に必須事項。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】大東文化大学書道センター編『書道の古典』(二玄社)

【その他】教材費 約二千元程度必要です。かな用改良半紙は各自用意して下さい。

科目名	日本文学講義 B		
担当教員名	赤間 恵都子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

『枕草子』といえば、「春はあけぼの」で有名な清少納言の作品である。短くてテンポの良い文体、作者の繊細で鋭い観察眼には現代人も驚き、共感をいだく。また、そこに綴られた中宮定子の逸話は後宮文化の象徴として平安文学の中で輝いている。和歌でも物語でもない、まったく新しい形態の作品がなぜ生まれたのか、その理由を作者の側と時代背景から探っていくのがこの授業のねらいである。

まず、『枕草子』の原文を読んで作品を耳で味わう。そして、周辺資料から作品に書かれなかった事情を探して、より深く『枕草子』を知る。授業を受けた後に、これまで知っていたものとば別の『枕草子』の世界がとらえられると思う。

内容

作者清少納言が宮仕えに入り、中宮定子や同僚の女房たちと交流を深めていった年月にそって、日記的章段と呼ばれる章段を取り上げて読んでいく。また、季節の風物を観察した随想段、人間観察が鋭い類聚段なども適宜取り上げ、一年間の授業を通して枕草子の全体像がとらえられるようにしたい。

1	ガイダンス
2	作者について
3	作品について 成立の事情
4	作品について 内容について
5	作品講読 宮にはじめてまゐりたるころ
6	作品講読 "
7	作品講読 "
8	作品講読 木の花は
9	作品講読 鳥は
10	作品講読 清涼殿の丑寅の隅の
11	作品講読 "
12	作品講読 山は
13	作品講読 うつくしきもの
14	作品講読 うれしきもの
15	前期まとめ

評価

前期、後期共にペーパーテスト、またはレポート課題を行い、レポート40点、ペーパーテスト40点、平常点20点で評価し、総合60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】【推薦書】いずれも開講後に指示する。

科目名	日本文学 / 芸術文化入門		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本文学および諸芸術学・メディア論の入門講座として、基本概念の理解、文献の把握、論じることについての視点とその表現方法の習得を目標とします。文学・芸術・メディアの姿と私たちとのありかたを、ここでは考察します。文学や芸術の歴史や具体的な作品、研究評論史や分析のための理論などを手掛かりに文学や芸術の世界に向かうことにします。それは、二年間で学ぶ事柄の全体像と達成すべき内容をここで知ることでもあるわけです。入門講座の開設の意味は、こうした学ぶべき事柄への最初の舵取りだと考えています。

本学科専攻それぞれのコースで学ぶ対象とその方法についての具体的知識を身につけるわけですが、同じ専攻に所属するというので、必修の共通科目になっています。より幅広く、文化のなかでの文学や芸術、メディアという現象に、視線を向けていくことにしましょう。

内容

担当者による講義が基本です。またビジュアル資料を使用したり、ゲスト講師を招いての特別講座を組み込んだりします。

- 1 学問 への誘い・ 対話 する精神
- 2 文学・芸術とメディア(1)(2)
- 3 文学・芸術の始原(1)(2)
- 4 ことばと伝達
- 5 ことばと文化(1)(2)
- 6 テクノロジーと芸術
- 7 映像とイメージ
- 8 音楽と文学(1)(2)
- 9 美術と文学(1)(2)

評価

講義の範囲を中心とした文学・芸術・メディアに関する知識の理解度を評価します。

テスト60%、平常点20%、出席点20%の配分を予定しています。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキスト：開講時に指示する。

科目名	日本文学 / 芸術文化入門		
担当教員名	平野 多恵		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本文学および諸芸術学・メディア論の入門講座として、基本概念の理解、文献の把握、論じることについての視点とその表現方法の習得を目標とします。文学・芸術・メディアの姿と私たちとのありかたを、ここでは考察します。文学や芸術の歴史や具体的な作品、研究評論史や分析のための理論などを手掛かりに文学や芸術の世界に向かうことにします。それは、二年間で学ぶ事柄の全体像と達成すべき内容をここで知ることでもあるわけです。入門講座の開設の意味は、こうした学ぶべき事柄への最初の舵取りだと考えています。

本学科専攻それぞれのコースで学ぶ対象とその方法についての具体的知識を身につけるわけですが、同じ専攻に所属するというので、必修の共通科目になっています。より幅広く、文化のなかでの文学や芸術、メディアという現象に、視線を向けていくことにしましょう。

内容

担当者による講義が基本です。またビジュアル資料を使用したり、ゲスト講師を招いての特別講座を組み込んだりします。

- 1 学問 への誘い・ 対話 する精神
- 2 文学・芸術とメディア(1)(2)
- 3 文学・芸術の始原(1)(2)
- 4 ことばと伝達
- 5 ことばと文化(1)(2)
- 6 テクノロジーと芸術
- 7 映像とイメージ
- 8 音楽と文学(1)(2)
- 9 美術と文学(1)(2)

評価

講義の範囲を中心とした文学・芸術・メディアに関する知識の理解度を評価します。

テスト60%、平常点20%、出席点20%の配分を予定しています。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキスト：開講時に指示する。

科目名	日本文学 / 芸術文化入門		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本文学および諸芸術・メディア論の入門講座として、基本概念の理解、文献の把握、論じることについての視点とその表現方法の習得を目標とします。文学・芸術・メディアの姿と私たちのありかたを、ここでは考察します。文学や芸術の歴史や具体的な作品、研究評論史や分析のための理論などを手掛かりに文学や芸術の世界に向かうことにします。それは二年間で学ぶ事柄の全体像と達成すべき内容をここで知ることであるわけです。入門講座の開設の意味は、こうした学ぶべき事柄への最初の舵取りだと考えています。

本学科専攻それぞれのコースで学ぶ対象とその方法についての具体的知識を身につけるわけですが、同じ専攻に所属するというので、必修の共通科目になっています。より幅広く、文化のなかでの文学や芸術、メディアという現象に、視線を向けていくことにしましょう。

内容

担当者による講義が基本です。またビジュアル資料を使用したり、ゲスト講師を招いての特別講座を組み込んだりします。

- 1 学問 へのいざない・ 対話 する精神
- 2 文学・芸術とメディア(1)(2)
- 3 文学・芸術の始原(1)(2)
- 4 ことばと伝達
- 5 ことばと文化(1)(2)
- 6 テクノロジーと芸術
- 7 映像とイメージ
- 8 音楽と文学(1)(2)
- 9 美術と文学(1)(2)

評価

講義の範囲を中心とした文学・芸術・メディアに関する知識の理解度を評価します。

テスト60%、平常点20%、出席点20%の配分を予定しています。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキスト：開講時に指示する。

科目名	比較文化論		
担当教員名	田中 正樹		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状(国語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本文化は、中国文化に大きな影響を受けながら形成されてきた。そこで日本文化を深く理解するためには、中国文化に理解は不可欠になる。

この授業では、中国文学の大きな流れを踏まえつつ、韻文と散文を具体的な作品に即して中国文学の多様性と特質を概観する。その際、日本文学との影響関係にもなるべく触れるようにする。

内容

1. 中国文学の流れ：中国文学史概観
2. 漢詩
3. 漢詩と和歌・俳句
4. 志怪小説
5. 伝奇小説
6. 章回小説(長編小説)
7. 中国小説と日本文学

評価

出席状況および受講態度50%・定期テスト50%の総合評価

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】プリント配布

【推薦書】授業中に紹介

科目名	比較文化論		
担当教員名	田中 正樹		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状(国語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本文化は、中国文化に大きな影響を受けながら形成されてきた。そこで日本文化を深く理解するためには、中国文化に理解は不可欠になる。

この授業では、中国文学の大きな流れを踏まえつつ、韻文と散文を具体的な作品に即して中国文学の多様性と特質を概観する。その際、日本文学との影響関係にもなるべく触れるようにする。

内容

1. 中国文学の流れ：中国文学史概観
2. 漢詩
3. 漢詩と和歌・俳句
4. 志怪小説
5. 伝奇小説
6. 章回小説(長編小説)
7. 中国小説と日本文学

評価

出席状況および受講態度50%・定期テスト50%の総合評価

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】プリント配布

【推薦書】授業中に紹介

科目名	比較文化論		
担当教員名	マブソン ローラン		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この授業では、フランス出身の日本学者・俳人・エッセイストである担当教員と共に、東西の詩歌（俳句、西洋詩、民謡、国際ハイク等）を具体的に扱い、日本詩歌と西洋詩との相違点・共通点を検証してゆく。同時に、文化論への広がりを目差し、日本文化全般にみる特質、あるいは普遍性を再発見してゆく。

内容

前期では授業の一角として担当教員の自伝的エッセイ「青眼句日記」（『一茶とワイン』、角川書店）を読み、後期では短編小説や俳句の実作指導も行います。また、ビデオを使ってオペラ、バレエ、映画などを参考資料にします。

前期 1：序説として、“余情的文化”（日本）と“叙情的文化”（欧米）の相異 2：海外連句批評、連句にみる日本文化の特質 3：江戸時代の日本文化とバロック・ローマン派芸術論、近代性とは何か？ 4：一茶の笑い、ベルグソンの「笑い理論」に基づいて 5：俳諧史にみる身分制度の歴史、フランスとの比較 6：ジェンダーと東西の文学 7：ポール・クローデルについて、西洋詩における「余情性」の可能性 8：詩歌における音韻の問題 9：日本文化における「聴覚」 10：日本文化におけるアニミズム的感性とエコロジーの問題 11：日本文化における「嗅覚」 12：西洋における日本文化の受容、文化間の対話をどのようにすすめるべきか？ 13：アラブ文化史、アジア諸文明における時間意識再考 14&15：まとめ

後期 1：「エスプリ」と「笑い」の違い、連句にみる「エスプリ」 2：現代俳句における古典（カノン化）と国際化の問題 3：諸国の民謡にみる普遍的な感性について 4：農村生活にみる普遍的な感性（葡萄酒の歴史、「風土の味」（terroir）とは何か？） 5：白鳥処女伝説、チャイコフスキー『白鳥の湖』を中心に 6：白鳥騎士伝説、ワグナー『ローエングリン』を中心に 7：農村におけるアニミズムとエコロジーの関係 8：十九世紀フランスの女性史（G・サンドを中心に） 9：幼児文学、子供俳句の国際化について 10～14：俳句の実作指導（句会） 合同句集作成 15：まとめ

評価

前期の終わりに、授業内容に基づくレポート（小論文）を課す。テーマの扱い方、構成（起承転結と論理性）、独創性を総合的に評価する。後期では口答試験と実習を行います。

前期80%、後期20%で、合格は100点満点のうち60点以上とする。出席は授業回数の3分の2を必要とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】マブソン青眼著『一茶とワイン - ふらんす流俳諧の楽しみ』（角川書店・2006）

【推薦書】マブソン・ローラン著『詩としての俳諧、俳諧としての詩』（永田書房・2005）

科目名	比較文化論		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

五月五日の端午の節句、十五夜のお月見などの年中行事、あるいは綱引き行事や仮面をつけた神が訪れる儀礼、あるいは納豆や餅を食べることなど、日本独自の民俗や文化と思い込んでいることがらが、実は琉球諸島や朝鮮半島、あるいは中国内陸部などにも存在することが意外に多くあります。日本からさらに視野を広げて東アジア世界（環東シナ海文化）の民俗として比較し捉え直すことで、日本の民俗や文化の成り立ちについて考えてみたいと思います。

内容

- ・ イントロダクション
 - 日本 なるもの・東アジアの中の日本という視点
- ・ 東アジアの基層文化
 - (1) 照葉樹林文化とナラ林文化 (2) 焼畑農耕民と水田農耕民 (3) 稲作の起源・食文化
- ・ 東アジア世界の比較民俗
 - (1) 八月十五日の民俗・大綱引き行事 (2) 訪れるカミ・来訪神儀礼 (3) 東アジアの龍蛇信仰
 - (4) 東アジアのシャーマニズムの世界
- ・ 日本の文化の源流

評価

テスト60%、レポート30%、出席点10%の配分で評価します。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキスト：開講時に指示します。

参考文献：佐々木高明『日本文化の基層』（日本放送出版協会）、吉田敦彦『日本神話の源流』（講談社）など。その他、参考文献は授業中随時紹介します。

科目名	芸術文化表現		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

なにげなく見過ごしがちな、日常の細々とした事象に目を向け、文章というかたちですくいとることを目的としています。

内容

前期テーマ：「今朝の私」を書く。

作家のエッセイを鑑賞・筆写することと、実際に自分で書いてみることを、隔回ごとに繰り返しながら、文章構成の技術や、文体のバリエーションを身につけるための基礎訓練を行います。

後期のテーマ：自分の視点を確立する。

毎回の課題作文を通じて、他人に読ませるための文章技術を学びます。

おもに取り上げる課題は、「季節の気配」「町並み」「ピンチ」「食べる」「寝る」「歩く」など。

その他、受講者の顔ぶれに応じて対応します。

評価

出席(50%)夏・冬2回の宿題(各25%)。合計60%以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

幸田文『季節のかたみ』(講談社文庫)

須賀敦子『ユルスナールの靴』(白水Uブックス)

科目名	芸術文化表現		
担当教員名	小嶋 知善		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

小説の実践的な創作実習や作品の合評を通じて、表現能力を養う。全員が創作集に載せる作品を創作することで、創作の技法を向上させる。

内容

受講者相互の発表や討議、教師による添削及び講評を通じて、各人の創作モチーフが優れた作品として具現できるようにする。

優れた 小説の書き方 を論じた著作・論考を授業でとりあげ、その技法や理論を各自が自作に反映させるように試みる。自分自身で実際に小説を創作することを通じて、文学作品に対する読解の深化を図る。さらに、そのことが自身の創作に反映するというような、相乗的文学理解が得られるようになる。

小説の執筆に必要なテーマの設定・取材・プロット構想・ストーリー構成・語り（文体）の選択などの基礎作業を踏まえた上で、実作において各自の表現技術を向上させる。

作品に対する客観的な批評尺度が身につくようになる。

評価

実際に創作した作品を提出してもらおう。その後、相互評価を行う。また、文学作品を読解し、その表現技法などもレポートしてもらおう。出席点も評価する。創作物の提出60%、出席・授業への参加40%

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は授業中に指示する。参考書として手軽に入手できる入門書は、中条省平『文章読本 文豪に学ぶテクニック講座』（中公文庫、2003）高橋源一郎『一億三千万人のための 小説教室』（岩波新書、2002）清水良典『2週間で小説を書く！』（幻冬舎新書、2006）など。

科目名	芸術文化表現		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

近代俳句の歴史と方法を学びつつ、俳句と連句の創作を行う。平凡な日常性を脱して、サロンの雰囲気の中で、個性的な詩精神の昂揚を、瞬時に作品化してゆく。武蔵野の自然を眺めつつ、<みずみずしい詩どころと豊かな創作力>を養いたい。

内容

- 1 はじめに 芥川龍之介『文芸的な余りに文芸的な』
エリオット『詩における三つの声』
- 2 近代俳句の歴史 『坂の上の雲』と正岡子規の『ホトトギス』 / 夏目漱石と子規の交友
- 3 現代の女性俳人 黛まどか『B面の恋』まで
- 4 ~ 11 句会(内、1回は大学環境ウオッチング・画集散策など)
- 12・13 連句の歴史と方法 連句会(半歌仙)
- 14 ロンドン風句会
- 15 吟行会
尚、句集『武蔵野集』の本作りも体験する。
先輩もゲストとして登場し、一緒に句会をする。

評価

俳句作品60点、句会態度20点、出席20点により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

- 【教科書】山本健吉編『季寄せ』(文藝春秋社)
【推薦書】東 聖子編『BARROCO 集』(「連句概説」あり、文學の森)

科目名	芸術思想研究		
担当教員名	清水 玲子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

アメリカやヨーロッパなどと同じく、日本でもミュージカルに対する認識が最近変化しています。

観劇人口も増え、外国の作品だけでなく、日本のオリジナル作品もたくさん上演されるようになってきました。

本講座では、文学・音楽・舞踊・演劇・美術の総合芸術としてのミュージカルの魅力を探ります。オペラが起源といわれ、大衆娯楽文化から芸術文化になるまでの歴史を学びます。

特に音楽を中心に研究し、それぞれの時代の特徴を考察することをねらいとします。

また、ミュージカルの作品の中で、原作のあるものを取り上げ、原作と台本、同じような題材との違いを比較研究します。

内容

17Cに始まったオペラから発展していったといわれるミュージカルを、歴史を通して年代別・作品の形態別・作曲者別の傾向を考察したり対比したりします。

また、アメリカとヨーロッパの作品、日本のオリジナル作品からいくつかの作品を選び分析をします。

ひとつのテーマにつき、1～3週で講義を進める予定。

ミュージカルの歴史

日本のミュージカルの歴史

さまざまなミュージカルの形態について

ミュージカル音楽について（原語の歌詞と日本語歌詞の比較・音の入り方などを研究）

台本・音楽・舞踊などについていくつかの作品を細かく分析

2～3作品を実際に劇場に行き観劇する予定

（今年度は5月ライオン・キング、11月未定 観劇の予定があります）

評価

出席50%、鑑賞した作品に関するレポート50%で総合的に判断します。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

適宜に本、プリント、DVD、CDなどを紹介する。

科目名	芸術思想研究		
担当教員名	石黒 教子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

現代社会に暮らす私たちは、様々な表象(イメージ)に囲まれています。それらは「だれか」の意匠であり、知らないうちに私たちの無意識に入り込み、世界観が作られる要因にもなっているのです。

時代や文化の異なる芸術作品、デザインなどを鑑賞しながら、その時代や文化を、想像力をもって推し量り、現在の自分の見方、考え方をつくる手助けになればと考えています。

内容

文字や印刷術、映画、コンピュータによる映像など、メディアを軸に表現・表象(イメージ)の歴史をたどっていきます。表現は時代背景と密接に結びついています。歴史的な背景を考慮し、時代の「心」に少しでも近づけるよう展開していきたいと思っています。また、アーティストやデザイナーにとって、制作の原理となっている、色彩論(カラーコーディネイト)や視覚心理などについて、簡単な演習を含めて展開していきます。

- ・文字の歴史 アルファベットと漢字
- ・印刷術の発明
- ・ルネッサンスと遠近法
- ・19世紀の大発明「写真」と美術
- ・動く映像 アニメーション始まり
- ・写真から映画へ
- ・3D映像の原理
- ・西洋美術の歴史 キリスト教と美術
- ・中世から近代へ 神から人への視線変更
- ・世紀末のデザインと美術
- ・心理学が美術を変えた - シュルレアリスム
- ・現代の美術
- ・色彩の原理と配色の練習
- ・視覚の法則(ゲシュタルト心理学)

評価

出席点30点、平常点(毎回の提出物)30点、期末テスト40点 により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	芸術文化表現		
担当教員名	小林 弘子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

私達の生活する環境には、常に私達の美に対する感性が反映されていると思います。文字についても書き手によって個性的に表現されています。当講座では、私達の祖先が漢字から作り出した美しいかな文字を習います。その上で変体がなや連綿等の方法を取り入れながら、表現を多彩に、豊かにして行きます。

変体がなは漢字の草書体から発展したもので、一音にいくつもの文字があります。紙面の構成を考え、その場に適した文字を探り当てて、おもむきのある表現をすることが、かな書道の勉強法だと思います。

まずは、かな文字が極度に発達した平安時代の古筆（平安、鎌倉時代のかなの名筆を古筆という）の臨書練習から、洗練された筆法や美的センスを学びます。そして〔俳句〕や〔短歌〕などを料紙や条幅などに書いて行きます。雅印を彫り、押印して作品を作り、お互いに鑑賞し、研究を深めたい。

内容

1. かな文字の基本を学ぶ。「いろは」から、二字、三字の連綿書きへと練習していきます。
2. 古筆を習う。高野切古今集、関戸本古今集、三色紙など。
3. 源氏物語絵巻より「鈴虫」の段を臨書し、和綴じをして作品とする。（文化祭に展示する）
4. かな作品用の雅印を彫る。（大字作品用と細字作品用）
5. 料紙や画仙紙に俳句や短歌を書く。字形や字配り、墨色など工夫して書いてみる。
お互いに作品を批評し合い、鑑賞眼を養う。

評価

各作品の評価60点、ペーパーテスト30点、授業態度10点により評価を行い、60点以上を合格とする。

但し、各作品の提出とペーパーテストは共に必須事項。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】大東文化大学書道センター編『書道の古典』（二玄社）

【その他】教材費 約二千元程度必要です。かな用改良半紙は各自用意して下さい。

科目名	日本の芸能論		
担当教員名	井上 愛		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

皆さんは「能」にどんなイメージをお持ちでしょうか。伝統芸能、面をつける、装束がきれい、何を言っているのかわからない...などさまざまだと思います。本授業の第一目標は、能の面白さを体験しようというところにあります。そして、年に1～2回、国立能楽堂へ足を運び、能・狂言を鑑賞することも予定しています。是非能を好きになっていただくことを目指します。

能は面・装束・詞・音楽など様々な要素で成り立っています。楽しみ方はこれら全てを体感することですし、それぞれを吟味することでもあります。様々な角度から、能の魅力にせまっていこうと考えています。

そのため、まず体感していただきたいのが能のセリフのリズムです。能のセリフの大部分は、リズムに則った韻文で書かれています。謡曲を群読することで、描かれているドラマが浮かびあがってきます。能のリズムを体感し、ドラマの面白さを味わいましょう。

内容

主な授業内容は以下の通りです。授業の最後に、「今日のまとめ」として100字程度で要約と感想や質問を書きます。

、能を読む

- 1、現代語訳
- 2、本文をみんなで通読する
- 3、役を決めてドラマ仕立てにして朗読する

、とりあげる作品

- 1、「隅田川」

人買いにさらわれた子供を捜して京都から隅田川までやってきた哀しい母の物語です。

再会できぬ親子の悲劇は、浄瑠璃・長唄など多くの芸能でも唄われています。

- 2、「清経」

平氏の滅亡を目の当たりにした平清経は自ら命を絶ちます。それを知った妻は夫の行いを許すことができません。清経の亡霊は妻の夢のなかに現れますが……。男女の心情のすれ違いを描いた名作です。

- 3、「高砂」

住吉明神が天下泰平・豊穰を祈って舞を舞う神の能です。「高砂」の一節は、結婚式などのおめでたい場でよく謡われます。

、能の歴史

- 1、観阿弥・世阿弥による能の大成～室町時代～
- 2、式楽となった能～江戸時代～
- 3、明治時代から現代にかけて

評価

夏期・冬期のレポート...各30点、授業時の提出物...20点、平常点...20点

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は特に指定しない。授業時に随時プリントを配布する。推薦書は以下の四点。

- 『能って、何？』松岡心平監修、新書館、2000・11
- 『すぐわかる能の見方』村上湛、東京美術、2007・10
- 『現代能楽講義』天野文雄、大阪大学出版会、2007・10
- 『能・狂言の基礎知識』石井倫子、角川選書、2009・2

科目名	日本の芸術理論 A		
担当教員名	平野 多恵		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

仏教美術の多くは、仏教經典の理論的な裏付けのもとに制作されている。本講義では、仏像を中心として、日本の仏教と美術の関わり合いを明らかにしながら、仏像についての基礎知識を身に付けることを目的とする。

内容

以下のようなテーマで講義を行う。

第 1 回 仏教とは

仏教美術を生み出す母体となった仏教に関する基礎知識を概説。

第 2 回 仏教美術とは

仏教美術とはどのようなものを概観

第 3 回 仏教美術の発生

仏像をはじめとする仏教美術が作られるようになった背景を概説。

第 4 回 仏像の世界

仏像の種類は「如来・菩薩・明王・天」の四種に大きく分けられる。それぞれの違いを解説しながら、仏教の世界観と仏像の種類を概観する。

第 5 ～ 7 回 如来

第 8 ～ 10 回 菩薩

第 11・12 回 明王

第 13・14 回 天

代表的な仏像を鑑賞しつつ、その背後にある信仰や教理、時代による制作技法の違い等を理解する。

第 15 回 試験

講義にあたっては、スライドやDVDなどの視覚的な資料を用いて出来るだけ具体的に理解できるようにする。また、理解を深める資料として、神仏の登場する文学作品を適宜取り上げる。

評価

平常の受講態度(10点)、授業中に提出するリアクションペーパー(30点)、学期末試験(60点)により総合的に評価する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキストはプリントを用意する。

科目名	日本の芸術理論 B		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本の古典的な文学論・芸術論を、時代を追って眺めてゆく。西欧の芸術論はアリストテレスの『詩学』をその始祖とし、以後の芸術学や美学は哲学的方法と科学的方法等があったが、それらは体系的である。日本の文学論・芸術論はより実作に即して、片言隻語的であるが、そこになお珠玉のように光る芸術の真理を伝えていて、興味深いものがある。能楽論の『風姿歌伝』には、「此の芸におひて、大方、七歳をもて、初めとす・・・うち任せて、心のまゝに、せさすべし」と初心者の稽古の注意を語っている。それぞれの文学論・芸術論の特色を楽しみつつ、原典に即して読んでゆく。また、今道友信著『美について』を、副読本として毎回読みながら、日本と西洋の美学の研究史と基本文献を視野にいれつつ、授業を行ってゆきたい。

内容

- 1・2 序 芸術論概論 日本と西洋 / アリストテレス『詩学』から
- 3・4 歌論 藤原公任『新撰髓脳』『和歌九品』 / 藤原清輔『奥儀抄』 美の発見(は『美について』)
- 5.6 歌論 藤原定家『毎月抄』 / 鴨長明『無名抄』 美の理解
- 7 連歌論 二条良基『連理秘抄』 / 心敬『さゝめごと』 芸術の力
- 8 連歌論 宗祇『吾妻問答』 / 宗長『連歌比況集』 芸術の理念
- 9 能楽論 世阿弥『風姿花伝』『申楽談儀』 芸術の源泉
- 10 茶道 『南坊録』 芸術の社会的機能
- 11 華道 『立花大全』『投入花伝書』 人格の美
- 12 俳論書 去来『去来抄』『旅寝論』 美の経験
- 13 俳論書 土芳『三冊子』 / 支考『俳諧十論』 最高の価値としての美
- 14 『作庭論』『五輪書』『古今役者論語魁』 VTR
- 15 番外編 マリア像の歴史的な変遷(ビジュアルに)

評価

出席30 点、授業態度20 点、レポート(または創作) 50 点などの評価により、60 点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

- 【教科書】今道友信著『美について』(講談社現代新書324) / その他、毎回プリントを配布する。
- 【参考書】川勝平太著『美の文明をつくる』(ちくま新書・2002 年)
- 九鬼周造著『「いき」の構造』(岩波文庫・1979 年)

科目名	日本文学講義 B		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

遙かなたの子どもの日々に、お気に入りの場所で貴女はどんなおとぎ話や紙芝居を楽しんだらう？

小澤俊夫氏は、『昔話入門』のなかで、「人間存在の真相を示す昔話」とその本質を述べている。また、マックス・リュウティは、ヨーロッパの昔話について、「昔話はどんな材料でも簡潔にまとめ、純化してしまう様式形態をもった含世界性の冒険物語である」と語っている。さあ、もう一度子ども時代に親しんだ日本のおとぎ話や世界の昔話を、楽しく研究してみよう。日本のおとぎ話の源流は、中世文学の御伽草子で、その本文を味わってみたい。そして、現代の本文と比較・分析をしてみよう。また日本の紙芝居は、その源流は古いが、現在の形になったのは近代である。そして、アニメ以前に存在した日本のオリジナルな文化なのである。タイにも文化輸出され、タイでも紙芝居が作られている。昭和初期から戦争中の紙芝居も、所蔵しているものを鑑賞し、考究してみることにする。そして、アジアやヨーロッパの童話についても読んでみたい。中国・タイやフィンランド・ドイツなどの子どもたちの児童文学の世界を探ってみよう。今回は、<おとぎ話や紙芝居の研究>とともに、<創作>として作品を、<パフォーマンス>としてBGM制作・グループ演劇・声の朗読演技などを試みてみたい。また、アジアや世界の子どもたちの文化を、現代のVTR やDVD で、リアルタイムに味わってみる。

内容

序 世界の昔話 美智子さまの講演記録から

1～ 3 日本の御伽草子・日本の昔話・現代のおとぎ話等(一寸法師・鉢かづき・物くさ太郎など・・・)

4～ 6 世界の昔話・童話(グリム童話・ペロー作品・ムーミンなど・・・)

グリム兄弟の世界・アンデルセンの世界

7・ 8 昔話・おとぎ話の理論(日本昔話・・・) 石井桃子の世界

9～11 紙芝居の歴史・紙芝居の実演

(昭和の本物の紙芝居・現代の紙芝居・・・戦争中の紙芝居からアンパンマンまで)

12～14 VTR・創作・パフォーマンス(不思議の国のアリス・オズの魔法使い・小公子・・・)

15 国際児童図書館の見学会

ゲスト(昔話研究所の方・朗読のプロの方)

尚、国際児童図書館(上野)の見学予定。

評価

出席20点、授業態度20点、見学会10点、レポートか童話創作50点などにより、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】授業中にプリントを、毎回配布する。

【推薦書】小澤俊夫編著『昔話入門』(1997年、ぎょうせい)

【参考図書】ロジェ・カイヨワ著、多田・塚崎訳『遊びと人間』(1990年、講談社学術文庫)

市古貞次校注『御伽草子(上・下)』(1985・86年、岩波文庫)

科目名	日本文化論		
担当教員名	橋本 克己		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

1. 位置づけ

この科目はコース選択科目(専門教育科目)である。

2. 教育目標

本科目は、日本社会の歴史について学ぶものである。今年度は、とくに「現代史」に焦点を当てて授業を構成する。主に「昭和史」を概観し、世界と日本がどのような関係を持ってきたのか、満州事変以降の「大東亜戦争」の本質は、何だったのかを考察する。貴重な記録映像を活用し、視聴覚的なアプローチを試みる。

内容

15週のうち14週を下記の内容で授業する。最終15週は筆記試験を行う。

1. 「昭和」という時代のはじまり

- (1) 昭和恐慌と満州事変の勃発
- (2) 不安な時代と大衆文化の動向

2. 对中国戦争の本格化

- (1) 日中戦争と戦時体制の強化
- (2) 庶民文化の統制 学問・思想への弾圧

3. 太平洋戦争と破局への道

- (1) 第二次世界大戦の勃発と欧州の情勢
- (2) 初期「太平洋戦争」 真珠湾への道 マレー半島攻略 大東亜共栄圏構想
- (3) ガダルカナル島の戦闘 中部太平洋での失策と無謀な戦線拡大
- (4) インパール作戦の実態
- (5) サイパン島陥落に至る諸問題
- (6) 硫黄島・沖縄の「玉砕」とポツダム宣言受諾への道程

4. 連合国(アメリカ主体)による「占領政策」と日本文化の動向

評価

主に課題と定期考査時の筆記試験により評定を算出する。算定に当たっては、出席30:課題と試験70の比率で、合計60点以上を単位認定する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

1. テキストは、特に指定しない。
2. 岩波新書、講談社現代新書などに関連図書が多数刊行されている。また、高等学校で使用した「日本史」の文部科学省検定済み教科用図書は重要な資料となる。

科目名	比較文化論		
担当教員名	平野 多恵		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

昔から人間の生活に占いは欠かせないものでした。本講義では、占いについて様々な角度から検証し、日本文化における占いの歴史や意義を考えていきます。

内容

- 第1回 占いとは？
- 第2回 占いの起源と役割
- 第3～5回 中国起源の占い
- 第6～8回 日本における占い
- 第9～11回 和歌による占い
- 第11～14回 おみくじと占い
- 第15回 筆記試験

評価

平常の受講態度(10点)、授業中に提出するリアクションペーパー(20点)、筆記試験(70点)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

適宜、プリントを配布します。

科目名	芸術思想研究 A		
担当教員名	清水 玲子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

ミュージカルへの関心が高まり、質の高い作品に接する機会がますます増えてきています。本講座では、創立95周年を迎えた日本の少女歌劇である宝塚歌劇団の発期から現在までの歴史的な流れを中心に講義を展開し、音楽表現と身体表現の特質を理解します。特に、大衆性と芸術性・娯楽性の問題や、文藝・音楽・舞踊・演劇などのさまざまな表現の特質を分析し、考察することをねらいとします。

また原作のある上演作品などは、原作本との比較を試みることで宝塚歌劇の特質を理解します。

講義は、本学の教員の他、元タカラジェンヌを特別講師として迎える予定です。

内容

「宝塚歌劇とは何か？」をひとつのテーマに、下記の内容を1～2週ずつ講義を進める。

宝塚歌劇の歴史

宝塚歌劇の文化と小林一三

宝塚歌劇の衣装

宝塚歌劇と経営戦略

宝塚歌劇の作品研究

宝塚歌劇の音楽表現

宝塚歌劇と広告

宝塚歌劇と原作

7月に観劇あり 月組及び宙組公演を予定

評価

出席40%、毎時間提出のレポート60%で総合的に判断する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】江藤茂博・植木朝子・加藤暁子・清水玲子・日向薫 著『宝塚歌劇団スタディーズ』（戎光祥出版）

科目名	芸術思想研究 B		
担当教員名	橋本 克己		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

1. 位置づけ

この科目は芸術文化コースの選択科目(専門教育科目)である。

2. 教育目標

本科目は、思想史上における美と芸術に関する論題を、とくに「美学」の視点から眺めてみようとするものである。現代の日常生活の中では「価値」という座標軸がきわめて不透明になっている。本科目では、古今の思想家の「美的価値」についての理論を概観しつつ、「価値」という意味について考察することを試みる。

内容

15週のうち14週を下記の内容で授業する。最終15週は筆記試験を行う。

1. 「美学」という概念について

- (1) バウムガルテンという思想家の定義
- (2) 「美を創出すること」という意味と「天才的芸術家」の関係

2. ギリシア哲学における「美」の概念

- (1) 「カロカガチア」という言葉をめぐって
- (2) プラトンの「イデア論」と「芸術の創出」という問題
- (3) 「ミーメーシス」という概念の本質
- (4) アリストテレスにおける「美」の概念

3. 近現代の「美」の概念

- (1) カントの『判断力批判』における「美的体験」の分析
- (2) ベンヤミンの美学
- (3) 「コピー」、「模倣」そして「写真」という概念
- (4) 現代人にとっての「美的概念」とは何か

評価

課題と定期試験時に実施する筆記試験により評定を算出する。出席点50：試験50で、合計60以上を単位認定する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

- 1. テキストは指定しない。適宜プリント等を配布する。
- 2. 以下の図書が参考になる。
 - 今道友信編著『美学の歴史』(講座・美学の1)(東京大学出版会)
 - 今道友信編著『西洋美学のエッセンス』(ペリカン社)
 - 木幡順三著『美と芸術の理論』(勁草書房)

科目名	文学／芸術総論		
担当教員名	赤間 恵都子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

本授業は、設定されたテーマに対して文学芸術の様々な方向から照明を当てていく講義である。本年度のテーマは「日本文学における 異界 」である。私たちの周りには普段の生活を営んでいる世界とは異なる世界がある。それは、たとえば親しい人の死に遭遇して考える来世や、何億光年の彼方に存在するかもしれない異星人の世界のような、特殊な世界とは限らない。遠い地方や海外に旅した時、また3000メートル級の高山に登頂した時に感じる感動や発見等も、異なる世界での経験といえるだろう。

日本文学は、日常生活と異なる出来事が起こる世界を異界としてとらえ、様々な形で表現してきた。神々のおわする天上界、かぐや姫が帰った月の世界、浦島太郎が訪れた龍宮城、泉鏡花が描いた夜叉が池など、 異界 が文学にもたらした豊かな発想や想像力は計り知れない。そのような異界の存在を、私たちは早くから知らされ、自然に受け入れてきた。異界は、私たちの日常社会を逆照射する世界でもある。普段感じることのない自らの正体や存在意義を知らせてくれるのも、異界に足を踏み入れ、そこから自分を顧みる時なのである。

本講義では、 異界 の意味を異郷、境界などにも広げ、また、日本文学に限らず文学芸術の大きな視点から、様々な異界 の分析を試みる。皆さんも 異界 を知ることによって、自分自身の存在を再確認していただきたい。

内容

王朝文化の中の 異界

平安時代の物語は、月世界から地上に下ったかぐや姫から始まる。陰暦によって運行されていた古代社会は現代とは比較にならないほど月との関係が深かった。王朝文学と月についての話からはじめて、貴族社会に度々現れた怨霊と『源氏物語』に描かれた怨霊、また、都を離れて東国や西国の異郷へ旅した貴族たちを取り上げ、王朝文化における 異界 について考える。

近世文化の中の 異界

江戸時代の文化における 異界 は、約260年間の鎖国時代における、徳川長期政権の幕藩体制下の太平の世における精神安定剤であり、前代中世の戦乱への鎮魂であり、やがて開国する海外文明でもあり、自由な創作意欲をかきたてる 負のキャンパス でもあった。此岸と彼岸のあわいの美学を、近世小説（上田秋成・井原西鶴）・近世韻文 俳諧 ・絵画 浮世絵・挿絵 などで探してみたい。

近代文化の中の 異界

近代文化における 異界 とは、単に神や妖怪が跳梁跋扈するような領域であるばかりではなく、現世の 異国 、すなわち実際に地図上に記された場所でもあった。源義経がジンギスカンになったという伝説が広まったのは、明治から昭和にかけてのことである。近代的な公教育が否定した迷信のゆくえを追って、民衆の噂の中に分け入ってみることにする。どうして今でも私たちは「外国」が恐いのだろう？

評価

評価；平常点40点、ペーパーテスト60点で、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書等；講義は授業で配布するプリントによる。また、必要に応じて授業で推薦書を紹介する。

科目名	文学 / 芸術総論		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

本授業は、設定されたテーマに対して文学芸術の様々な方向から照明を当てていく講義である。

本年度のテーマは「日本文学における 異界 」である。私たちの周りには普段の生活を営んでいる世界とは異なる世界がある。それは、たとえば親しい人の死に遭遇して考える来世や、何億光年の彼方に存在するかもしれない異星人の世界のような、特殊な世界とは限らない。遠い地方や海外に旅した時、また3000メートル級の高山に登頂した時に感じる感動や発見等も、異なる世界での経験といえるだろう。

日本文学は、日常生活と異なる出来事が起こる世界を異界としてとらえ、様々な形で表現してきた。神々のおわする天上界、かぐや姫が帰った月の世界、浦島太郎が訪れた龍宮城、泉鏡花が描いた夜叉が池など、 異界 が文学にもたらした豊かな発想や想像力は計り知れない。そのような異界の存在を、私たちは早くから知らされ、自然に受け入れてきた。異界は、私たちの日常社会を逆照射する世界でもある。普段感じることのない自らの正体や存在意義を知らせてくれるのも、異界に足を踏み入れ、そこから自分を顧みる時なのである。本講義では、 異界 の意味を異郷、境界などにも広げ、また、日本文学に限らず文学芸術の大きな視点から、様々な 異界 の分析を試みる。皆さんも 異界 を知ることで、自分自身の存在を再確認していただきたい。

内容

王朝文化の中の 異界

平安時代の物語は、月世界から地上に下ったかぐや姫から始まる。陰暦によって運行されていた古代社会は現代とは比較にならないほど月との関係が深かった。王朝文学と月についての話からはじめて、貴族社会に度々現れた怨霊と『源氏物語』に描かれた怨霊、また、都を離れて東国や西国の異郷へ旅した貴族たちを取り上げ、王朝文化における 異界 について考える。

近世文化の中の 異界

江戸時代の文化における 異界 は、約260年間の鎖国時代における、徳川長期政権の幕藩体制下での太平の世における精神安定剤でもあり、前代中世の戦乱への鎮魂でもあり、やがて開国する海外文明でもあり、自由な創作意欲をかきたてる<負のカンパス>でもあった。此岸と彼岸のあわいの美学を、近世小説(上田秋成・井原西鶴)・近世韻文(俳諧)・絵画(浮世絵・挿絵)などで探してみたい。

近代文化の中の 異界

近代文化における 異界 とは、単に神や妖怪が跳梁跋扈するような領域であるばかりではなく、現世の 異国 、すなわち実際に地図上に記された場所でもあった。源義経がジンギスカンになったという伝説が広まったのは、明治から昭和にかけてのことである。近代的な公教育が否定した迷信のゆくえを追って、民衆の噂の中に分け入ってみることにする。どうして今でも私たちは「外国」が恐いのだろう？

評価

平常点40点、ペーパーテスト60点で、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

講義は授業で配布するプリントによる。

また、必要に応じて授業で推薦書を紹介する。

科目名	文学 / 芸術総論		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

本授業は、設定されたテーマに対して文学芸術の様々な方向から照明を当てていく講義である。

本年度のテーマは「日本文学における 異界 」である。私たちの周りには普段の生活を営んでいる世界とは異なる世界がある。それは、たとえば親しい人の死に遭遇して考える来世や、何億光年の彼方に存在するかもしれない異星人の世界のような、特殊な世界とは限らない。遠い地方や海外に旅した時、また3000メートル級の高山に登頂した時に感じる感動や発見等も、異なる世界での経験といえるだろう。日本文学は、日常生活と異なる出来事が起こる世界を異界としてとらえ、様々な形で表現してきた。神々のおわする天上界、かぐや姫が帰った月の世界、浦島太郎が訪れた龍宮城、泉鏡花が描いた夜叉が池など、 異界 が文学にもたらした豊かな発想や想像力は計り知れない。そのような異界の存在を、私たちは早くから知らされ、自然に受け入れてきた。異界は、私たちの日常社会を逆照射する世界でもある。普段感じることのない自らの正体や存在意義を知らせてくれるのも、異界に足を踏み入れ、そこから自分を顧みる時なのである。本講義では、 異界 の意味を異郷、境界などにも広げ、また、日本文学に限らず文学芸術の大きな視点から、様々な 異界 の分析を試みる。皆さんも 異界 を知ることによって、自分自身の存在を再確認していただきたい。

内容

王朝文化の中の 異界

平安時代の物語は、月世界から地上に下ったかぐや姫から始まる。陰暦によって運行されていた古代社会は現代とは比較にならないほど月との関係が深かった。王朝文学と月についての話からはじめて、貴族社会に度々現れた怨霊と『源氏物語』に描かれた怨霊、また、都を離れて東国や西国の異郷へ旅した貴族たちを取り上げ、王朝文化における 異界 について考える。

近世文化の中の 異界

江戸時代の文化における 異界 は、約260年間の鎖国時代における、徳川長期政権の幕藩体制での太平の世における精神安定剤でもあり、前代中世の戦乱への鎮魂でもあり、やがて開国する海外文明でもあり、自由な創作意欲をかきたてる負のカンバス でもあった。此岸と彼岸のあわいの美学を、近世小説(上田秋成・井原西鶴)・近世韻文(俳諧)・絵画(浮世絵・挿絵)などで探してみたい。

近代文化の中の 異界

近代文化における 異界 とは、単に神や妖怪が跳梁跋扈するような領域であるばかりではなく、現世の 異国 、すなわち実際に地図上に記された場所でもあった。源義経がジンギスカンになったという伝説が広まったのは、明治から昭和にかけてのことである。近代的な公教育が否定した迷信のゆくえを追って、民衆の噂の中に分け入ってみることにする。どうして今でも私たちは「外国」が恐いのだろう？

評価

平常点40点、試験60点で合計60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

講義は授業で配布するプリントによる。

また、必要に応じて授業で推薦書を紹介する。

科目名	マスコミ・メディア総論		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

人と人のあいだをつなぐものという「メディア」本来の意味をふまえながら、現代社会におけるコミュニケーションやネットワークの在り方、また私たちの置かれている社会状況について、様々な角度から検討していきます。ストレスの多い現代社会を生き抜く知恵を、受講者それぞれが見出してくれることを期待しています。

内容

講義 1～5：伝達について

講義 6～10：マス社会について

講義 11～15：ネットワークについて

評価

毎回のリアクションペーパー(50%)、学期末レポート(50%)。合計60%以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	日本文化論		
担当教員名	平野 多恵		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

みなさんは「本」というと、どのようなものを思い浮かべますか？ほとんどの人が、いま一般に書店で並んでいるような、活字の印刷された書籍を想像したのではないのでしょうか。しかし、このような活字による印刷本は明治時代以後に広まったもので、江戸時代には版木に文字を彫って刷った「版本」がほとんどでしたし、室町時代以前には、筆と墨によって一冊一冊を写し書きした「写本」が書籍の基本でした。本講義では、「写本」や「版本」の種類・仕組み・装丁・紙・文字・取り扱い方法など、書物をめぐる歴史や文化を幅広く学びます。

内容

前期

- 第1回 和本とは何か？
- 第2回 書物の起源
- 第3～5回 和本の製法と種類
- 第6回 糊でつくる和本（実習）
- 第7回 和本の綴じ方
- 第8・9回 糸で綴じる和本（実習）
- 第10～12回 和紙の装飾
- 第13・14回 装飾料紙をつくる（実習）
- 第15回 前期まとめ

後期

- 第1～4回 書誌調査の基礎知識
- 第5・6回 書誌調査（実習）
- 第7回 和本の補修（実習）
- 第8～13回 変体仮名を読む
- 第14回 変体仮名を書く（実習）
- 第15回 学期末試験

評価

平常の受講態度(10点)・授業中に提出する課題(40点)・学期末試験(50点)により総合的に評価します。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】笠間影印叢刊刊行会『字典かな 出典明記 改訂版』(笠間書院)

科目名	基礎講読		
担当教員名	平野 多恵		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この授業は、日本文学・日本語学およびその隣接分野を学ぶための基礎的な知識と思考力を身につけるためのものである。とはいえ、それはなにも堅苦しい修練の場というわけではない。この講座を通して、おそらく君たちにとっては新しい知である、思想や分析の言葉を、君たち自身の言葉として、理解し、身につけてもらいたいのである。そうすることで知はなによりも君たちの知になるだろうし、そこに新しい「世界」が姿を現すはずだ。そして、その「世界」に対面できることが、自らの足で歩む思慮の第一歩なのである。君たちが君たちの手＝知でつかんだ問題こそが、たとえそれがどんな表現をとろうが、学問というものの初源の姿なのである。君たち自身の興味や関心をあたらしい言葉で表現できたとき、そこにあらわれた「世界」は君たちのものだ。

これまでの勉強にはいつも正しい答えがあったことだろう。しかし、学問思想の世界とは 正しい 答えがない「世界」だともいえる。なぜならば、そこでは日々新しい問いが問い直されているからだ。そう、学問の世界は新しい「世界」を手に入れようとする奮闘の場であり、新しい言葉とはそこで生み出され使われている言葉なのである。そうした言葉を身につけたとき、知はようやく本当の力を発揮し始めることだろう。さあ、新しい言葉の海へ航海に出よう。それはさまざまなテキストとその理論に出会うことで、きっと新しい「わたし」を発見する旅でもあるはずだ。

内容

担当者によって講義内容に若干の違いがあるが、文学や日本語学への視点についての講義、また、必要に応じて、担当者の専門領域と結びついた講読などを行う。受講生の興味関心と学習効果を考慮しながら展開するのを原則とする。

評価

出席30点、授業態度20点、テストあるいはレポート50点により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキスト：開講時に指示する。

科目名	基礎講読		
担当教員名	赤間 恵都子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	0Bクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この授業は、日本文学・日本語学およびその隣接分野を学ぶための基礎的な知識と思考力とを身につけるためのものです。この講座を通して、自分の考えを自分自身の言葉として表出し、同時に他に正しく理解される表現として外に発信する力を身につけてもらいたいと思います。それは、自らの足で社会に踏み出す準備の第一歩となるでしょう。

この授業の特徴は、担任とクラス全員が参加する通年必修の授業だということです。また、1年生全員が同じ時間に受講しています。したがって、ホームルーム的な役目も持ち、短大生活における学習や卒業後の進路のサポートを含めた総括的な内容を扱います。

内容

担当者によって講義内容に若干の違いがあるが、文学や日本語学への視点についての講義、また、必要に応じて、担当者の専門領域と結びついた講読などを行う。受講生の興味関心と学習効果を考慮しながら展開するのを原則とする。

評価

出席30点、授業態度20点、テストあるいはレポート50点により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキスト：開講時に指示する。

科目名	基礎講読		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	0Cクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

芸術文化コース系の講座は、芸術およびその隣接領域の基本的な知識を身につけ、さまざまな文化現象に興味や関心を持って思考する力を養うことを目的としている。本科目では国内外の芸術文化を学ぶ基礎を作るため、さまざまな領域の芸術論や小説などの文学作品を読んだり、映画や舞台などの映像作品を見たりして、芸術文化に関する知識と感性を豊かに養っていく。さらに、それらの作品に触れて考えた事を実際に文章で表現し、自分の言葉で的確に表現できるようにする。

内容

各担当者によって講義内容に若干の違いがあるが、文学を含めた芸術文化への視点についての考察、また必要に応じて、担当者の専門領域と結びついた文献講読などを行う。受講生の興味関心と学習効果を考慮しながら展開するのを原則とする。

評価

リアクションペーパー等による平常の受講態度(30点)、発表or試験orレポート(70点)によって評価する。60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

開講後、各授業で指示する。

科目名	基礎講読		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	0Dクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

芸術文化コース系の講座は、芸術およびその隣接領域の基本的な知識を身につけ、さまざまな文化現象に興味や関心を持って思考する力を養うことを目的としている。本科目では国内外の芸術文化を学ぶ基礎を作るため、さまざまな領域の芸術論や小説などの文学作品を読んだり、映画や舞台などの映像作品を見たりして、芸術文化に関する知識と感性を豊かに養っていく。さらに、それらの作品に触れて考えた事を実際に文章で表現し、自分の言葉で的確に表現できるようにする。

内容

各担当者によって講義内容に若干の違いがあるが、文学を含めた芸術文化への視点についての考察、また必要に応じて、担当者の専門領域と結びついた文献講読などを行う。受講生の興味関心と学習効果を考慮しながら展開するのを原則とする。

評価

リアクションペーパー等による平常の受講態度(30点)、発表or試験orレポート(70点)によって評価する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

開講後、各授業で指示する。

科目名	基礎講読		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	0Eクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

基礎講読の授業は、文学の領域、芸術の領域、メディア論の領域を複合させた思考や知識を身につけてもらうためのものです。メディア表現コースのクラスでは、社会に向けて発信するための具体的な表現方法について、またその表現の効果などについて考えていきます。2年生の演習に入る前の予備学習として、クラス全員で発表し互いに学び合う形式の授業です。一方、クラス担任制の授業であるというHR的な側面を生かし、社会に飛び立つ直前の人間としての基礎的な生活習慣や勉学に対する取り組み方、進路へのアプローチなどについても再確認します。2年間の学生生活を送る上で重要な基盤を整えていきたいと思います。

内容

日本の芸術文化やメディア表現に関する文献の講読、また担当者の専門領域と結びついた様々な分野の講読を行います。さらに、資料の検索や図書館の利用の仕方、レポートの書き方など、大学で学ぶための基本的な方法を身につけます。

受講生の興味関心と学習効果を考慮しながら展開するのを原則とします。

具体的な内容としては、各自の読書活動によって選んだ1冊について、出典、作者、内容を紹介する資料を作成して発表し、その後、文章化してクラス全体で「私の一冊」として冊子を作ります。その他、受講生の希望に応じて様々な学習活動を行います。

評価

出席および平常点50点、ペーパーテストやレポート50点で評価し、60点以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業内容に応じて、適宜プリントを用意します。

科目名	メディア社会論		
担当教員名	加藤 暁子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

現代社会は、さまざまな手段で情報を得ることが出来ます。テレビ・インターネット・新聞や雑誌などのさまざまなメディアを通じて、あらゆる人々が自由に発信し、生活の中に知らず知らずに入って来るたくさんの情報。そんな情報社会のシステムを把握し、論じることについての正しい視点と自発的に表現することができる力の習得を目標とします。

インターネットの普及等により瞬時に世界中の情報も得ることができます。また携帯端末が充実し、ワンセグの登場によりインターネットのみならず、テレビ番組までも端末で見ることができたり、お財布としても利用できるようになりました。いつでもどこでも、好きなだけ情報を得られるようになった今日だからこそ、より正しい情報を得られるように、感覚を研ぎ澄ましていきましょう。そのために、各メディアごとに検討し、情報を文化的にとらえる力を養い、情報社会に押し流されないように、知識を広げましょう。そして、新しい情報に翻弄されないよう、既存の文化を大切にしつつ、その上で新しい情報社会を正しく受け入れられるような方向性を一緒に考えていきましょう。

内容

1. 情報社会におけるメディアの役割
2. メディアを利用してできること
3. 各メディアが社会に与える影響力
4. メディアとは、なにか 効果のあるメディアの使い方とは・・・?
5. インターネットの普及によって社会はどう変化したか
6. 情報の流れのシステムについて
7. 正しい情報、正しくない情報はどのようにして生まれるか
8. 課題：現代社会で起きていることを自分の力で解説する
9. テレビとインターネットの、影響力の違い
10. 海外から見た日本のメディアとは
- 11~12. 時事用語について学び、社会を知る
13. 時事用語から見る世界の動き
14. 情報社会の実態 間違った情報
15. 復習と簡単なテスト

評価

毎回行う小レポートまたはディスカッションで70点(5点×14回)、最後に行うテスト10点、レポート20点

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書・推薦書については、授業中に紹介致します。

教材は、最新の情報などを、毎回プリントで配布致します。

科目名	メディア社会論		
担当教員名	宮城 道子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

高齢社会は、多くの方が長生きできる社会であると同時に、加齢による生活変化が誰にでも予想しえる将来となったことによって、高齢者福祉(特に介護問題)を誰でもが共有する問題とすることができた。さらなる少子高齢社会は、人口減少社会でもある。価値観の多様化と格差の拡大によって、人びとは生活の豊かさという共通イメージをもつことがむずかしくなっている。そのような社会の変化のなかで、自らの未来をどのように予測し、準備するかを考えるのは、若い女性の自立に欠かせない。社会人として直面する生活課題への対応を、ライフデザインのなかにどのように位置づけるかを学ぶ。

内容

少子高齢社会の現状を理解し、社会保障や社会福祉の制度改革のもと、現代の若い女性のライフデザインを検討する。とくに、人生の節目(ライフステージ)ごとの社会サービスの利用の可能性を検討する。

1. 女性のライフサイクル - 祖母の人生・母の人生
2. 時代とライフステージ
3. 高学歴化と職業
4. 皆年金・皆保険
5. 雇われる働き方のオールタナティブ
6. 介護の社会化と住宅
7. 最後のセーフティネット

評価

受講態度(10点)、授業中の課題(30点)、レポート(60点)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は初回授業時に示す。

推薦書は、適宜紹介する。

科目名	メディア社会論		
担当教員名	宮城 道子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

産業化・工業化・都市化・情報化等によって、私たちの暮らしは豊かになり、メディアやインターネットの普及は、全国どこでもほしい情報が得られる環境を作り上げた。しかし、少子高齢化はさらに進み人口減少社会にはいった。特に地方では過疎がすすみ、地域固有の生活文化は失われつつある。一方、都市住民の中には、田園志向、農業回帰の生活ニーズが生まれつつあり、食の安全にかかる事件の続発によって、その傾向は強まっている。地方における暮らしや文化、中央と地方の関係、グローバル社会におけるコミュニティといった問題を地域の側から考えるために、農業女性が取り組んだ活動に学ぶ。

内容

今年度テーマ：女性農業者のネットワークから学ぶ

農業女性として生きる道を選び、地域からの情報発信と農業女性の全国的ネットワークを実現した「田舎のヒロインわくわくネットワーク」の活動に学ぶ。農業という職業を通じて、食べ物や生き物の大切さを知る女性たちが、社会を変えるために何をしたのか、身近な女性の生き方から理解する。

1. 導入 - 都市と農村・中央と地方
2. 農村女性をとりまく環境とあらたな活動の現状
3. テキストおよび著者紹介
- 4.-5. テキスト 第1章 森の学校に集まれ
- 6.-7. テキスト 第2章 女性が動けば世の中が動く
- 8.-9. テキスト 第3章 ヒロインは新しい農のパイオニア
- 10.-11. テキスト 第4章 株を買って総会にいこう
- 12.-13. テキスト 第5章 黙ってなんかいられない
14. 女性たちの地域参画とエンパワーメント
15. まとめ - レポート報告と講評

評価

出席および受講態度(20点)、レポート(80点)とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書：やまざきようこ『田舎のヒロインが時代を変える』家の光協会 2004

推薦書：山崎洋子『田舎暮らしに夢のせて - 女のネットワーク誕生物語』家の光協会 1995

WAN編集・発行『生きることの中に「農」があった - 山崎洋子さんの場合』2001

WAN編集・発行『「嫁」が経営主になった - 熊崎美保子さんの場合』2001

WAN編集・発行『農業は私の職業だ！ - 清水照子さんの場合』2002

田舎のヒロインネットワーク編『雪印100株運動 - 起業の原点・企業の責任』創森社 2004

科目名	メディア社会論		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

人間は五感を持つことができる。しかし、ヘレン・ケラーは三つの感覚がなかったが、サリバン先生との出会いによって、充実した時間を生きた。たとえば、一つの感覚がないということは、他の四つの感覚が研ぎ澄まされ、それはまた<人間としての大きな個性>といえるのではないだろうか。

この授業では、特に<視覚障害があったにもかかわらず、歴史のなかで個性が輝く大きな事をなした人々>について、たどってみたい。

まず、2009年度のヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールで優勝した辻井伸行氏がいる。また、ヴァイオリンには川島成道氏もいて、これらの音楽を聴きたい。江戸時代には、埼玉県の子供で全盲の国学者である塙保己一(はなわほきいち)がいて、41才から74才までに『群書類聚』(530巻・1270種)を、幕府の援助で刊行した。

また、<世界と日本の点字図書館>の誕生と現状を学びたい。日本点字図書館は1940年(昭和15年)に、全盲の本間一夫氏により、民間の福祉施設として東京都に設立された。そのことについては、岩波新書に詳しく書かれている。現在は、コンピュータ化がすすみ、また「点字図書と朗読図書」が二つの主要な分野としてある。イギリスのNBLやアメリカのMLSなどの海外の事情も知りたい。

素晴らしい個性のありかを追いかけて、点字図書館の見学を通してなにかお手伝いできればと思う。

内容

- 1 序 個性的な人間と盲教育
- 2～5 ヘレン・ケラーの生涯
- 6～7 [現代の音楽家/辻井伸行・川島成道] [江戸時代/塙保己一・望一・玄々]
- 8～10 [本間一夫の生涯と日本点字図書館/海外の点字図書館事情]
- 11～13 [朗読のレッスン/ゲスト講師による/子供への読み聞かせ]
- 14 VTR 「奇跡の人(ヘレン・ケラー)」(アカデミー賞受賞)
- 15 課外授業

*課外授業 日本点字図書館の見学(高田馬場)

評価

出席30点、授業態度(ディスカッションなど)10点、見学会10点、レポート50点などにより評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業の時に紹介する。プリントも配布する。

科目名	メディア社会論		
担当教員名	小嶋 知善		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

日本近現代文学を代表する作家の短編から、 都市 をめぐって語られた小説テクストを読む。

作品を読みながら双方向性の授業形態で、受講生の意見や感想を述べてもらう。

具体的には、（１）タイトル、主人公……といった、小説を読む際の基本事項を確認する。（２）作家たちが 都市 の何に魅力を感じたのか、舞台となる 都市 はどのような空間か、われわれの描く 都市 のイメージはどのようなものか… …など、 都市 について考える。

内容

取り上げる作家は、大江健三郎、三島由紀夫、江戸川乱歩、志賀直哉、田山花袋といった、国語国文専攻の学生なら１度は目を通しておきたい作家である。単にテクストを読むだけではなく、自分が行ったことのある都市空間、自分が生まれ育った空間、イメージと結び付いた空間……など、いろいろなことを感じ、話し合う授業にしたい。

授業で取り上げた小説以外の代表作については、レポート課題とする。

教科書は、小説の発表年にそって編年体で編集されているが、発表年のさかのぼって読んでいく。

ガイダンス

大江健三郎『人間の羊』の読解。

三島由紀夫『橋づくし』の読解。

織田作之助『木の都』の読解。

江戸川乱歩『目羅博士』の読解。

堀辰雄『水族館』の読解。

中野重治『交番前』の読解。

横光利一『街の底』の読解。

梶井基次郎『檸檬』の読解。

芥川龍之介『舞踏会』の読解。

志賀直哉『小僧の神様』の読解。

谷崎潤一郎『秘密』の読解。

国木田独歩『窮死』の読解。

田山花袋『少女病』の読解。

樋口一葉『十三夜』の読解。

評価

出席の状況および授業での発言など（50％）。レポート課題（50％）。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】東郷克己・吉田司雄編『近代小説 都市 を読む』（双文社出版）

科目名	メディア社会論		
担当教員名	赤間 恵都子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

現代社会のように様々な通信手段が発達していない1000年前の王朝社会において、私たちの祖先はどのように情報を伝達していたのだろうか。不便そうに思える時代の中で、しかしだからこそかえって繊細で優雅な趣向が工夫され、見事なメディア文化が発達していたことを数々の古典文学作品は示してくれる。心遣いのかけらもないような軽い情報が数多く飛び交い、とどまることを知らないかに見える現代の情報化社会の中で、私たちの祖先が育てた王朝文化の高度なメディアテクニックを振り返り、本当に良いメディアとは何かを考える契機にしてほしい。

内容

王朝時代の通信メディアとして、手紙の種々相を、日記文学を中心とする作品の中から取り上げ、その方法や効果について考える。また、それぞれの作品の作者と時代についても学んでいく。

1	ガイダンス 王朝文化のメディアとは
2	蜻蛉日記 作者と作品について
3	蜻蛉日記 恋愛と結婚の文
4	蜻蛉日記 菊の折り枝
5	蜻蛉日記 日常的な文
6	和泉式部日記 作者と作品について
7	和泉式部日記 恋の始まり
8	和泉式部日記 恋愛の贈答歌
9	枕草子 文具・文使いなど
10	枕草子 中宮からの文
11	枕草子 男性貴族との贈答
12	源氏物語 折り枝の贈答
13	源氏物語 近江の君の文
14	源氏物語 筋の展開に作用する文
15	まとめ

評価

平常点40点とレポート60点で、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】テキストはなし。授業は配布するプリントによる。

【推薦書】新編日本古典文学全集『蜻蛉日記他』『和泉式部日記他』『枕草子』『源氏物語』

(小学館)

『女流日記文学講座』(勉誠出版)

『源氏の恋文』尾崎左永子著(求龍堂)

その他、各作品個々の参考文献は数多くあるので、必要に応じて授業で紹介する。

科目名	メディア表現論		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

1年次の情報処理演習を踏まえて、そこで習得したコンピュータのスキルをさらに発展させることを狙う。それゆえに、1年次の情報処理演習の単位を修得していることが必要である。まず、アニメーションに対して、心理学的な考察、物理学的な考察、数学的な考察を行う。それらを踏まえた上で、サウンド、写真などを盛り込んだ、アニメーションを作成する。特に、折り紙の折り方を教える、手話を教えるなど教育的な目的をもったアニメーションを作成する。

内容

1．オリエンテーション

2．心理学的な考察(1)

人間に連続的に見えるアニメーションの原理について、視覚心理学的な考察を行う。

3．心理学的な考察(2)

アニメーションにおいて欠かせないサウンドについて、聴覚心理学的な考察を行う。

4．心理学的な考察(3)

アニメーションの技法においては、視覚情報と聴覚情報のずれなどを利用することが多い。視聴覚の相互作用について考察を行う。

5．物理学的な考察

色彩、サウンドを扱うためには、物理学的な知識が必要であるので、その初歩を学ぶ。

6．数学的な考察

3次元のアニメーションを作成するためには、3次元空間に関する「感覚」が必要である。その感覚を養う。

7．ペイント系ソフトウェアの基本的な学習(1)

8．ペイント系ソフトウェアの基本的な学習(2)

9．ドロー系ソフトウェアの基本的な学習(1)

10．ドロー系ソフトウェアの基本的な学習(2)

11．映像系ソフトウェアの基本的な学習(1)

12．映像系ソフトウェアの基本的な学習(2)

13．サウンド系ソフトウェアの基本的な学習(1)

14．サウンド系ソフトウェアの基本的な学習(2)

15．アニメーションの作成

教育的な目標を一つ設定し、簡単なアニメーションを作成する。

16．まとめ

評価

毎回提出してもらってレポート、150点満点(15回×10点満点)で、90点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	メディア表現論		
担当教員名	岡崎 正義		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

高度情報社会の中で、TV、映画、インターネットなど「映像」はあらゆる分野で、その役割をはたしています。

映像は見るだけでなく、自ら「撮る」機会もふえてきました。

特にデジタル技術の進歩によって、軽量小型で高画質なデジタルカメラやビデオカメラが市場にでまわり、個人の生活の中にも「映像」が身近なものになってきています。

デジタルカメラとデジタルビデオカメラによる撮影実習をすすめる中から「映像表現」を体験し、具体的、実践的に映像について理解を深めていきます。

氾濫する映像情報の中から必要なものを選択する目を養い、的確な映像表現ができるようになることをねらいとします。

内容

- 1．オリエンテーション
- 2．写真1 まず撮ってみよう
- 3．写真2 シャッターチャンス、フォーカス、絞り、ポジション
- 4．写真3 画角（写角）、構図、光の質と方向
- 5．写真4 テーマを決めて撮る
- 6．写真5 デジタルで保存する
- 7．写真の良さ。 ビデオの良さ。
- 8．動画から生まれた
- 9．長さ（時間）の要素
- 10．音を効果的に使う
- 11．アングルを変え、サイズを変え、多角的に
- 12．被写体が動く。 カメラとVTRが動く。
- 13．編集の役割
- 14．レポートについて
- 15．まとめ

評価

実習による評価と期末に掲示された課題によるレポート。出席状況も評価の対象とする。

出席40点、実習30点及びレポート30点の合計で評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

必要な教材は、その都度、資料として配布する。

科目名	メディア表現論		
担当教員名	岡崎 正義		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

高度情報社会の中で、TV、映画、インターネットなど「映像」はあらゆる分野で、その役割をはたしています。

映像は見るだけでなく、自ら「撮る」機会もふえてきました。

特にデジタル技術の進歩によって、軽量小型で高画質なデジタルカメラやビデオカメラが市場にでまわり、個人の生活の中にも「映像」が身近なものになってきています。

デジタルカメラとデジタルビデオカメラによる撮影実習をすすめる中から「映像表現」を体験し、具体的、実践的に映像について理解を深めていきます。

氾濫する映像情報の中から必要なものを選択する目を養い、的確な映像表現ができるようになることをねらいとします。

内容

- 1．オリエンテーション
- 2．写真1 まず撮ってみよう
- 3．写真2 シャッターチャンス、フォーカス、絞り、ポジション
- 4．写真3 画角(写角)、構図、光の質と方向
- 5．写真4 テーマを決めて撮る
- 6．写真5 デジタルで保存する
- 7．写真の良さ。 ビデオの良さ。
- 8．動画から生まれた
- 9．長さ(時間)の要素
- 10．音を効果的に使う
- 11．アングルを変え、サイズを変え、多角的に
- 12．被写体が動く。 カメラとVTRが動く。
- 13．編集の役割
- 14．レポートについて
- 15．まとめ

評価

実習による評価と期末に掲示された課題によるレポート。出席状況も評価の対象とする。

出席40点、実習30点及びレポート30点の合計で評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

必要な教材は、その都度、資料として配布する。

科目名	メディア文化論		
担当教員名	木村 義之		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本の大衆芸能のひとつである落語について考える。若い人たちにとっては「食わず嫌い」で敬遠されることの多い落語が少しでも身近な存在となるようにしたい。

内容

本講義では主として三遊亭円朝が確立したとされる近代以降の東京落語を中心とする。あわせて、漫才・コントなどの芸能についてもふれることがある。VTRなどを用いた落語鑑賞や、実際に寄席・演芸場に出かけていくこともある。

前期：1.日本人の笑い 2.寄席のしくみ 3.落語の構造

後期：1.落語のことば 2.落語と色物 3.漫才・コントなど 4.落語の歴史と将来

評価

出席50%、受講態度20%、前期・後期のレポート30%による。レポートは、実際に寄席・演芸場に行き、生の芸を体験したことをベースに作成してもらう。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】三遊亭円楽監修・山本進編『落語ハンドブック』(三省堂)

【推薦書】桂米朝『落語と私』(文春文庫)

科目名	メディア文化論		
担当教員名	江藤 茂博		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

映像の物語の歴史、映像の物語の現在、そして映像の物語の分析方法を、文芸理論との関連で考えていくことにする。特に、映像の物語は、受容者にどのような世界を差し向けているのか、それを受容者はどのように受容するのかを考察することになるだろう。

内容

前期は「時をかける少女」の小説・映画・テレビドラマ・マンガをテキストとして使う。

前期 映画の歴史

前期 映画の理論

前期 映画から映像へ

前期 映像作品の分析理論

前期 ~ テキスト分析

前期 まとめ

後期は岩井俊二の映像作品をテキストとして使う。

後期 ~ テキスト分析

後期 まとめ

評価

出席50%、レポートとペーパーテスト50%

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	硬筆書道		
担当教員名	長濱 トモ子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

ワープロ全盛の今日でも、硬筆は日常生活において便利な筆記用具であり、その手書きの美しい筆跡の果たす役割も大きい。

本科目では、第1に、漢字や仮名の知識や技法を身につけ、正しく美しい文字で実用書式を書けるようにすること、第2に、硬筆作品を制作する楽しみ、喜びを味わい、文字を書く生活を豊かにすることをねらいとしている。

内容

漢字、平仮名、片仮名、アルファベット、数字の字形の整え方からスタートする。

日常表記である漢字仮名交じり文を、目的に適した書体、文字の大きさ、配置などに配慮して体裁よく書く力を養う。また筆順、漢字の部首の名称、仮名の字源、字体(旧字体、書写体)の知識、理解を深めたい。具体的な内容は、以下の通りである。

実用書式 ー 原稿用紙 履歴書 掲示物 欠席届等の諸届
はがき(暑中見舞、年賀状) 封筒 手紙文 慶弔用語を書く。

作品制作 ー 諺(ことわざ)、格言、詩歌を芸術的作品に仕上げる。
栞(しおり)や心を伝えるカードを作成する。

ペンの持ち方、執筆のくせを直し、正しい書法にそって根気よく練習することが望まれる。

希望者には、硬筆書写検定の受験指導にも応じる。

評価

各課題の提出作品60点、出席20点、授業態度20点により評価する。60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書 開講時に指示する。

適宜プリントを配布する。

推薦書 狩田巻山『ペン字精習』上・下 日本習字普及協会

江守賢治『楷行草 筆順・字体字典』三省堂

高田・大久保・長尾・宮崎(共著)『ペン習字三体』 日本習字普及協会

科目名	日本文学・文化演習		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

< 火事と喧嘩は江戸の花 > そんな江戸時代に成立した浮世絵は、主に江戸の街における人情や流行・風俗などの情報を盛り込みながら、美しい色と形からなる日本独自の美術です。また浮世絵は国際的にも知られ、19世紀末から20世紀初めのジャポニズムの時代に、西洋の絵画にも影響を与えました。海外の美術館等には多くの良質な浮世絵コレクションが所蔵されています。ハワイのホノルル美術館もその一つです。また歌川広重の浮世絵が、ゴッホに影響を与えたことはよく知られています。《浮世絵の歴史》をたどりながら、《浮世絵のなかの江戸空間》に入って、江戸の美術をたのしく鑑賞してみましょう。

また、近代の美術館の成立を歴史的にたどり、海外と日本のさまざまな個性的な美術館・博物館を調べてみます。そして、21世紀の新しい美術館・博物館の在り方を探り、いつかそこを訪れてみましょう。

内容

前期

1 序 浮世絵とは

2 浮世絵の概説 浮世絵の歴史

3 浮世絵の概説 浮世絵の種類と作者たち

4~15 演習形式（各自の好きな作家の作品についてレポートをする。）

[浮世絵の開花 浮世絵の黄金期（美人画と役者絵） 浮世絵の黄金期（寛政） 浮世絵の爛熟期（奇想と幻想）
浮世絵の爛熟期（風景・花鳥画） 幕末から明治へ（残光）]

後期

1 序 近代の美術館（博物館）の概説 成立

2 近代の美術館（博物館）の概説 海外と日本

3~15 演習形式（各自の好きな特色のある海外と日本の美術館の紹介）

課外授業 浮世絵浮世絵太田記念美術館（表参道）の見学

なお、論文集『近世レポートVol.17』を作成

評価

出席20点・レポーター30点・美術館見学10点・レポート40点により評価を行い、60点以上を合格とする。

前期・後期：各自が見学した美術館のレポート / 各自が発表した浮世絵のレポート

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】小林 忠監修『カラー版 / 浮世絵の歴史』（美術出版社）

科目名	日本文学・文化演習		
担当教員名	石黒 教子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	01クラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

以前は専門的な技術者の分業によっていた出版・編集が、近年ではコンピュータを使うことによって、簡単かつパーソナルに行えるようになりました。この授業ではイラストレータとフォトショップというデザイナーにとっては定番のソフトを使用して、マークやイラストを描き、文字や写真とともに編集・デザインして最終的に本という形にまとめていきます。素材の選び方、料理の仕方によって、さまざまな表現の可能性があることを知り、実際に作品を制作する体験をします。オリジナルな「自分の表現」を見つけましょう。

内容

イラストレータとフォトショップにはそれぞれに特徴があります。特性を知り、上手に使っていくための演習をします。

まず、イラストレータで自分のマークを作り、それを使ったステイショナリーを作ります。

フォントについて学習し、フォントの使い方を実習します。

フォトショップによる写真や画像の調整方法も平行して覚えていきましょう。

CDジャケットや文庫本のカバーを作成します。

「本」の構造を学び、前期はテキストを主体とした詩集をつくり、製本します。

後期はフォトショップを本格的に学習し、イラストレーションを主体とした絵本を作成します。

また、フォトショップをのアニメーション機能を使って、簡単なアニメーションを作成します。

評価

出席40点 提出物 60点 として、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

科目名	日本文学・文化演習		
担当教員名	江藤 茂博		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	0Gクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

言語表現テキストや映像表現テキスト、そしてそれらの複合されたテキストを、分析対象として扱う。具体的には、小説、マンガ、映画、アニメ、さまざまな広告と商品などを、ひとつのテキスト性のあるものとして、どのように解読できるのかを考えることになる。そのことで、批評意識を手に入れてほしいし、自分の分析的な思考力を高めてほしい。

内容

前期では、マンガやアニメーションなど映像テキストを幾つか取り上げて、分析方法の具体例を講義形式で示しながら、併せて分析の理論を紹介する。その場合、なるべく受講学生に親しみのあるテキストを具体例として取り上げたいと考えている。分析方法を理解し自らのスキルにしてもらいながら、さらに後期では、言語・映像またそれらが複合したテキストを分析報告してもらうことになる。

前期 から 現代小説とその分析方法、前期 から 映画とその分析方法、前期 から マンガ・アニメーションとその分析方法。後期は、各受講学生の報告を中心としながら、現代の表現文化と社会の関係についての考察を深めていくことになる。

評価

出席点50パーセント、報告30パーセント、レポート提出20パーセント。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	日本文学・文化演習		
担当教員名	田鍋 桂子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	0Hクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

日常使用している言葉に対して、わたしたちは知らず知らずのうちに「正しい」とか、「普通」、「公の場にふさわしい」といった規範意識をもっている。規範意識がもっとも顕著にあらわれるのは国の日本語の施策上であるが、施策は、日本語の状況や、人々の日本語の状況把握、認識の上に成り立つものである。規範意識が施策としてあらわれてくる明治期を対象に、このような規範は、当時の、どのような言語状況を背景に、いつ、どうして成立したのかを考えたい。

この授業では、日本語の調査・研究方法について学ぶとともに、わたしたちの言葉の背景に規範意識があるということを認識した上で、外的要因からいたずらに価値判断を下すのではなく、実際の日本語の状況や、人々の日本語に対する認識を、言語資料を通してさまざまな角度から読み取っていく。これらの作業を通して、わたしたちの価値判断の過程そのものをも見直すきっかけにしたい。

内容

授業は、以下の手順で行う。

前期

- ・明治期の日本語の概説
- ・文法・意味・語彙についての小さな調査・発表
- ・テキストの読解（若松賤子『小公子』）

後記

- ・明治期の日本語研究の概要
- ・参考文献の解題
- ・各自がテーマ（一例として、言文一致、標準語と方言、仮名遣い、漢字、文体、女性らしい言葉遣い、敬語など）を決め、調査・発表。

評価

発表40%、レポート30%、平常点20%、出席点10%で評価します。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキストはプリントで配布します。

参考資料は、必要に応じて、授業中に紹介します。

科目名	日本文学・文化演習		
担当教員名	小嶋 知善		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	0Fクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

「雑誌」の制作。制作の過程で、アイデアを出し、インタビューをまとめたり自分で文章を書いたりして、一冊の雑誌を作り上げていく。

内容

私たちが手にする一冊の本や雑誌ができるまでには、企画・取材・記事執筆・編集・レイアウトなど様々な段階を経ています。

本演習では、実際に雑誌作りを体験してもらいます。

アイデアを出し合ったり、インタビューを行ったり記事を書いたりして、実際に雑誌を作成する楽しさを知ってもらおうと思います。

まずグループごとに企画を練り、取材をして記事を書き、デザインをするといった共同編集作業による制作を行います。次には、各人による個人編集の雑誌作りに挑戦してもらいます。

評価

出席の状況および授業への取り組み(50%)。制作した雑誌についての評価〔記事の内容やレイアウトなど〕(50%)。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に指示します。

科目名	日本文学・文化演習		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	0Eクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

テーマは「日本のなかの外国／外国のなかの日本」。

例えば宇都宮の名物がギョーザだというのは、よく考えるとヘンな気がしませんか？あるいは、ジンギスカン焼肉は本当はモンゴル料理じゃなくて日本料理であるとか、日本の（日本だけではありませんが）女性に大人気のルイ・ヴィトン、本場パリでは若い人は身につけないって、知っていますか？

ふだんにげなく接している「外国のもの」や「外国的なもの」を良く調べてみると、なんかヘンだぞ日本人！という実態がみえてきます。そこからあらためて、日本文化とはなにか、どのようなものなのか、じっくり考えてみましょう。

内容

授業では、参加者各自が、好みの国・地域をえらび、それに関わる文物の移入のされ方や、使われ方の歴史、小説や演劇、音楽、マスコミ、街なかでのとり上げられ方など、多角的に調査のうえ報告し、全員で討論しながら、日本文化とはどのようなものなのか、考えてもらいたいと思います。

好みの文物から、それが喚起する国や地域について考察してもよいです。

評価

議論への参加・貢献度（50％）、学年末レポート（50％）。合計60％以上を合格とします。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】マイク・モラスキー『戦後日本のジャズ文化 映画・文学・アングラ』（青土社）

科目名	日本文学・文化演習		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	0Cクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

「霊柩車を見たら親指を隠す」「夜、爪を切らない」というタブー・迷信が今でも意外に信じられていることに驚くことはないでしょうか。あるいは河童などの妖怪は信じられなくなってきているとはいえ、口裂け女や学校の怪談などの怪奇な話は繰り返し再生するのはなぜでしょう。私たちがふだん何気なく行っているさまざまな暮らし方や習慣のなかに、実は日本的なものの見方や考え方が潜んでいます。この演習では日本の伝承文化の世界を探ることを通して、日本的なものや、わたしたち自身のありかたを問い直してみたいと思います。

内容

学生の発表と討議による演習形式を中心とします。発表者は担当部分について資料・参考文献を調べ、発表用資料を作成し、それにもとづいて発表を行い。その後、参加者全員で討議していきます。前期の最初の数回は、講義形式で資料・参考文献の調査の方法、伝統社会や民俗学の概要について説明を行ったうえで担当を決定します。

年間のスケジュールは以下の通り。

(1) 授業計画説明

演習担当の決定・調査の手順・発表資料の作成手順・参考文献の解題

(2) 前期演習

出席者と相談の上で以下の二案のどちらかに決定します。

伝承文化のなかから各自の興味・関心のある分野について概説的な発表を行う。例としては[通過儀礼(誕生・出産、葬制・墓制、祖先崇拜など)、年中行事(正月、農耕儀礼など)、まつり・民俗芸能、口承文芸(昔話、伝説、民謡、童謡、世間話、都市伝説など)、民間信仰(俗信、妖怪、まじない、のろいなど)、衣食住、民具など]。

『遠野物語』に描かれた伝承世界を分担して発表する。

(3) 後期演習

前期の発表からさらに各自のテーマを絞り込み、レポートでの文章化を前提に発表する。

評価

演習の担当部分の発表40%、レポート40%、質疑応答などの平常点20%の配分で評価します。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

開講時に指示します。

科目名	日本文学・文化演習		
担当教員名	平野 多恵		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	0Dクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

みなさんはお寺や神社でおみくじを引いたことがありますか？日本人はおみくじや占いに古くから親しんできました。本演習では、江戸～明治時代のおみくじを引いて、自分のおみくじを読み解きながら、その背後に広がる人間の生活や信仰、時代の空気などを探っていきます。くずし字で書かれた古いおみくじを読みますので、演習での発表へ入る前に、くずし字読解のトレーニングも行います。

内容

第1回 おみくじ 概説・発表担当順の決定

第2回 発表資料の作成方法について

第3～5回 くずし字読解のための基礎トレーニング

第6回以降 演習担当者による発表

演習形式で、江戸～明治時代の「おみくじ」を読む。発表者は、くずし字で書かれた古いおみくじを読み、それを丁寧に解釈していく。

評価

発表の内容(50点)・レポート(30点)・平常の受講態度(20点)によって評価する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキストはプリントで準備します。

科目名	日本文学・文化演習		
担当教員名	赤間 恵都子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	0Bクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

古典として現代に残っている文学作品は、それ相応の価値を持って長い間読み継がれてきたものである。それゆえ古典は何度読んでも読者それぞれの人生経験に応じて新たな発見ができる。映画やテレビドラマ、漫画、歌劇など、様々なメディアに翻訳され続けている『源氏物語』は、どの時代にも受け入れられる許容性と永遠性を備えた作品である。永遠のヒーロー光源氏をはじめ魅力的な様々な女性たち、そして作者紫式部と出会う楽しみを、様々なメディア作品にも触れつつ堪能していきたい。

内容

源氏物語の中から、各自が興味を持っている登場人物や平安時代の習俗について調査し、作成した資料に基づいて発表し、意見交換をして互いに学び合う。

前期の数回は講義や視聴覚資料によって作品についての概要を学ぶ。漫画や映画など、様々なメディアに読み替えられた『源氏物語』についても積極的に取り上げていきたい。

最後に、各自が好きな登場人物を選んで、研究レポートとしてまとめて提出する。

1	ガイダンス
2	作者についての概説
3	作品について 源氏物語5 4 帖概説
4	作品について 源氏物語第一部前半
5	作品について 源氏物語第一部後半
6	作品について 源氏物語第二部
7	研究発表と意見交換 (担当者各二人)
8	〃
9	〃
10	〃
11	〃
12	〃
13	源氏物語の女君について
14	源氏物語の男君について
15	前期まとめ

評価

授業での発表内容が40点とレポートが60点で、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】なし

【推薦書】新編日本古典文学全集『源氏物語』(小学館)

『源氏物語の鑑賞と基礎知識』鈴木一雄監修（至文堂）

『人物で読む源氏物語』（勉誠出版）

その他、源氏物語関係の書は多数あるので、授業で適宜紹介していく。

科目名	日本文化論		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

私たちは最先端の高度情報化社会を生きていますが、一方でお正月には餅を食べ、初詣でに行き、高層ビルを建てる際には地鎮祭をするなど、昔からやっているからと何気なく行っていることがたくさんあります。このように繰り返される伝統的な生活習慣や意識を探るのが 民俗学 といってよいでしょう。したがって民俗学を学ぶことは私たち自身のありかたを見つめ直すことでもあります。この授業では、総論として日本民俗学の理論と方法のおおよそを学び、さらにその成立と展開について、日本民俗学の生みの親柳田国男の生涯と思想の問題と関連させながら考えて行きます。

内容

- ・ イントロダクション
 - 身近にある民俗・民俗学と古典文学・民俗学の魅力
- ・ 民俗学的発想について
 - (1) 民俗 という語 (2) 民俗 の中身・範囲 (3) 常民 と 常民性
 - (4) フィールドワークとデスクワーク (5) 重出立証法と方言圏論
- ・ 柳田国男と日本民俗学の生成
 - (1) 民俗学の先達(本居宣長・平田篤胤)
 - (2) 柳田国男
 - a. 民俗学以前(世界への願望と経世済民の志向)
 - b. 民俗学の胎動(異族としての山人)
 - c. 民俗学の確立(稲と常民のいる日本)
 - (3) 折口信夫

評価

テスト60%、レポート30%、出席点10%の配分で評価します。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキスト：開講時に指示します。

参考文献：民俗学の概論書としては、柳田国男『郷土生活の研究法』(ちくま文庫『柳田国男全集』)、柳田国男・関敬吾『日本民俗学入門』(復刊・名著出版)、和歌森太郎『日本民俗学』(弘文堂)、上野和男他編『民俗研究ハンドブック』(吉川弘文館)、福田アジオ他編『日本民俗学概論』(吉川弘文館)などがある。そのほか参考文献は授業中随時紹介する。

科目名	日本文化論		
担当教員名	小嶋 知善		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

小説の実践的な創作実習や作品の合評を通じて、表現能力を養う。全員が創作集に載せる作品を創作することで、創作の技法を向上させる。

内容

受講者相互の発表や討議、教師による添削及び講評を通じて、各人の創作モチーフが優れた作品として具現できるようにする。

優れた 小説の書き方 を論じた著作・論考を授業でとりあげ、その技法や理論を各自が自作に反映させるように試みる。自分自身で実際に小説を創作することを通じて、文学作品に対する読解の深化を図る。さらに、そのことが自身の創作に反映するというような、相乗的文学理解が得られるようになる。

小説の執筆に必要なテーマの設定・取材・プロット構想・ストーリー構成・語り(文体)の選択などの基礎作業を踏まえた上で、実作において各自の表現技術を向上させる。

作品に対する客観的な批評尺度が身につくようになる。

評価

実際に創作した作品を提出してもらい。その後、相互評価を行う。また、文学作品を読解し、その表現技法などもレポートしてもらい。出席点も評価する。創作物の提出60%、出席・授業への参加40%

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は授業中に指示する。参考書として手軽に入手できる入門書は、中条省平『文章読本 文豪に学ぶテクニク講座』(中公文庫、2003)高橋源一郎『一億三千万人のための 小説教室』(岩波新書、2002)清水良典『2週間で小説を書く!』(幻冬舎新書、2006)など。

科目名	日本文化論		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

急速に外来文化が入り、社会の価値観が変わっていった明治以後の日本では、西洋化することに、それなりに器用に順応できたエリートよりも、むしろ時代の変化のスピードにとり残されてきた人々のほうが、圧倒的に多かったのが実情です。しかしそんななかから、いや、むしろそんななかからこそ、身についた感性にしたがった、独特の文化が、数多く生み出されてきました。

本講座は、そうした過去から現在にいたるユニークな庶民文化の諸相をとりあげながら、そこに横たわる根源的な問題を見つめ直すことで、「エリート文化」や「大衆文化」といった既成の枠組を越えた地平から、これからの「人間文化」のあり方について、みなさんに考えてもらうことを目的としています。

内容

1	「らしさ」の文化論
2	ダンディの戦略
3	過去と戯れる人々
4	エキゾチック・ジャパン
5	いつもそこにあったという感覚
6	ピエール・カルダンと未来の廃墟
7	俗謡の聴き方
8	夜の領域
9	好物はスキャンダル
10	ヤンキーはどこへ消えた？
11	ソースの話
12	ダーチャの話
13	ユーラシアの話
14	内側の細部
15	総括

評価

各自がどれだけ自分の頭で考えているかということの評価します。評価点数は、毎回授業時に提出するリアクション・ペーパー(50点)、学期末レポート(50点)。合計60点以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	日本文化論		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

現在、「モノケ」という言葉は、妖怪全般をさすものとしてよく使われているが、日本の古代においては、神霊や精霊、妖怪、魔物などはひっくるめて「モノ」と呼ばれていた。万葉集では「鬼」という漢字を「モノ」と訓じてもいる。こうした超自然的存在はときに「タタリ」というかたちで、人間に災厄をもたらしたり、霊異を体験させたりした。古代の人々はそれを畏怖し、占いや祭祀などのさまざまな手段で交渉してきた。この授業では古代の神話・説話・史書などのなかにあられたそうした交渉を読み解き、「モノ」たちとともに生きた人々の精神構造をさぐることにしたい。

内容

以下のようなテーマでの講義を予定しているが、進行状況により、順序や内容を変更する場合がある。

- ・イントロダクション
- ・神と妖怪
- ・古代の神霊観 タマ・カミ・モノ
- ・ト占・託宣・夢 神霊世界との交信
- ・オオモノヌシ 神婚幻想と巫女
- ・崇りなすアマテラス
- ・病気と鬼の気
- ・死者の霊と語り
- ・亀トと怪異
- ・自然開発と崇り
- ・王権・神祇官・陰陽寮
- ・『今昔物語集』の霊鬼たち
- ・鬼に化す女たち
- ・いざなぎ流 民俗社会の占いと祈祷
- ・まとめ

評価

試験（またはレポート）7割、平常点（授業時の小レポートなど）3割の予定。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキスト：開講時に指示する。

参考文献：小松和彦『憑霊信仰論』（講談社学術文庫）、馬場あき子『鬼の研究』（ちくま文庫）、西郷信綱『古代人と夢』（平凡社ライブラリー）、斎藤英喜『いざなぎ流 祭文と儀礼』（法蔵館）、岡部隆志ほか『シャーマニズムの文化学』（森話社）など。その他参考文献は授業中随時紹介する。

科目名	芸術思想研究		
担当教員名	藤澤 茜		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

人々を魅了する演劇はどのように誕生し、継承されてきたのでしょうか。この問題について、日本の伝統芸能、歌舞伎を主に取り上げて検証します。その理由には、次の4点が挙げられます。

歌舞伎が庶民の芸能であったこと。能、狂言の影響を受けていますが、歌舞伎が権力者の庇護下でなく庶民の娯楽として発展した点に注目します。江戸庶民文化の根幹を築き、小説や浮世絵に多大な影響を与え流行の発信源であった歌舞伎を通じ、人々が何を演劇に求めたかを検証します。

神の祭りという宗教的性質があること。神として扱われた人気役者市川団十郎（舞台上からならむと観客が風邪をひかないとされる「ならみ」芸は現在も継承されています）なども取り上げ、信仰と演劇という不可分の問題についての検証を行ないます。

世界で初めて回り舞台を設置するなど、舞台技術、演出面でも多くの特徴がみられること。

商品広告などメディアとしての役割も果たしたこと。社会現象を敏感に反映する姿は現代のマスコミにも共通し、歌舞伎を通じて大衆に向けた演劇の意義を明らかにすることができます。

以上の点をふまえ、能、狂言や西洋演劇、アジアの演劇（中国、韓国、タイなど）との比較も行ない歌舞伎の本質を明らかにします。さらに宝塚やミュージカル、アニメーションにも対象を広げ、エンターテインメントとしての演劇のあり方を検証します。

内容

文献、脚本研究のほか、ビデオ観賞、絵画資料からの検証をまじえ視覚的に演劇をとらえて学びます。絵画資料については、主に浮世絵を取り上げます。2008年には浮世絵の検証をもとに元禄時代の上方の舞台復元（プロジェクトには藤澤も参加）が行われるなど、浮世絵は資料的な価値が高く歌舞伎研究には不可欠な資料です。以下のスケジュールで授業を進めます。

ガイダンス・歌舞伎の特色と歴史

歌舞伎の舞台構造を知る～能舞台の模倣時代から現代のコクーン歌舞伎まで

芝居を創る 元禄上方和事復活上演までの軌跡

市川団十郎と江戸の信仰

人形浄瑠璃と歌舞伎 「義経千本桜」の狐忠信

能と歌舞伎舞踊 「道成寺」「土蜘蛛」など

歌舞伎と広告 「外郎売」など

浮世絵に見る歌舞伎 歌舞伎役者の人気を知る

歌舞伎の海外公演 パリオペラ座公演・平成中村座ニューヨーク公演

歌舞伎と海外の演劇（1）京劇（中国）・パンソリ（韓国）・リゲー（タイ）等アジアの芸能

歌舞伎と海外の演劇（2）シェイクスピアと蜷川幸雄

海外の演劇（1）「ロミオとジュリエット」

海外の演劇（2）ミュージカル「ウエストサイド物語」

現代の演劇 宝塚「ベルサイユのばら」に見る華麗な舞台

現代のアニメーション 「千と千尋の神隠し」と日本文化

評価

毎時間の授業に関するコメント提出と、学期末にレポート提出を課します。配点の比率は、授業時のコメント30%、試験70%とし、60点以上を合格とします。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】なし。【参考書】開講後に指示。

授業時には毎回プリントを配布します。

科目名	メディア表現論		
担当教員名	平田 智久		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

メディア表現論 はデザインの世界から迫っていく。

デザイン (Design) とは、視覚や触覚を駆使して自己表現し生活を豊かにする営みのことである。狭い意味の模様作りやイラスト作成とは異なる。さらにデザインは【視覚言語】としてのコミュニケーション (Communication) 媒体でもある。つまり非言語のコミュニケーション = Non Verbal Communication として重要な

手段である。そうした日常性の中にある視覚的な効果や影響力について認識を新たにすることや、自らが受け手であり発信者であることを自覚することが本授業のねらいである。

また、デザイナーとしての専門教育を目的としていない。「人間にとって造形性は必要である」ということに視点をおき、形や色彩に関わる概念を再認識し、自らが造形することの喜びを体感することもねらいのひとつともいえる。既成概念からの離脱を図り、新たな造形性を発揮し造形的思考力を高められることを望む。

内容

造形行動は物的な材料を媒体として実現するものである。意図的な制作や構成を行う前に、物のもつ性質や可能性を直接体験を通して感受する必要がある。そこで次のような演習から視覚的変容を体験する。

- ・ 錯視 (= イリュージョン Illusion) の試み
- ・ コンパスで構成する試み
- ・ 色彩と形、その相関関係の試み
- ・ 立体空間表現への挑戦

などを織り交ぜながら、年間演習を通して行う。

評価

主に講義内容の理解度により判断する。作品の上手い下手での評価ではない。挑戦している演習態度も考慮に入れる。(出席・意欲30%、スケッチブックの内容70%)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に定めない。

推薦書については時に応じて適宜授業内で紹介する。

科目名	基礎書道		
担当教員名	鈴木 慈子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1,2	ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

文字を美しく書くことを「書道」と呼んでいます。毛筆で書く文字には活字にない美しさがあります。長い歴史の中で残された古人の優れた書を鑑賞し、古典に立脚した正しい実技の習得を目指します。そして書の良さ、美しさをしっかり受け止める力を養い、書く楽しさを身につけてほしいと思います。

授業では、十数種の名筆を手本にして臨書し、他と比べることで個々の良さがより鮮明になることをねらっています。漢字の基本となる知識や技法を十分に修得して、自己を表現できる芸術性のある書へと展開してほしいと思います。

内容

基本となる楷書から入り、行書、草書と臨書を進めていきます。実用書として細楷の練習にもなる写経と年賀状などの作成。大字作品を書くということで条幅にも揮毫します。

臨書で培った力を発揮した創作作品にも挑戦してみたいと思います。

書道史は、現在見ることのできる最古の文字である甲骨文から、書の黄金時代と言える唐の時代までを範囲とします。時代の進展とともに様々な書体が生まれてきた過程、各時代の書家や作品について、伝わる逸話なども加えながら解説します。

(前期)

実技 楷書の結体を習得するために、初唐の三大家の代表的作品を臨書する。

行書学習として、王羲之の名品である蘭亭序の臨書。

般若心経の書写。

条幅作品の制作。

書道史 殷・周・秦代の書である篆書の資料の鑑賞と説明。

漢代の隷書の碑群、木簡などについて。

すべての書体がそろう三国時代。書道史の中心となった王羲之の登場と筆跡資料について。

(後期)

実技 独創的な書風を開拓した顔真卿の楷書を臨書。

集字聖教序、枯樹賦、風信帖等の臨書により行書の技法を学ぶ。

草書学習として、十七帖、書譜を臨書。

隷書、篆書にも触れてみる。

干支を意識した年賀状の作成。

一年間の集大成に自由な題材を選んで創作作品を書く。

書道史 北魏、隋、唐時代の書について。

初唐の三大家による楷書の完成と、多数の名筆について鑑賞する。

評価

各法帖の清書・写経・条幅等、作品による評価60点、ペーパーテスト30点、受講態度10点により評価を行い、60点以上を合格とする。但し、各作品の提出とペーパーテストはともに必須事項。

授業時数の3分の1以上の欠席は不認定となります。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】久米東邨編著『書道芸術（漢字編）』（萱原書房）

科目名	基礎書道		
担当教員名	鈴木 慈子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	0Bクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

文字を美しく書くことを「書道」と呼んでいます。毛筆で書く文字には活字にない美しさがあります。長い歴史の中で残された古人の優れた書を鑑賞し、古典に立脚した正しい実技の習得を目指します。そして書の良さ、美しさをしっかり受け止める力を養い、書く楽しさを身につけてほしいと思います。

授業では、十数種の名筆を手本にして臨書し、他と比べることで個々の良さがより鮮明になることをねらっています。漢字の基本となる知識や技法を十分に修得して、自己を表現できる芸術性のある書へと展開してほしいと思います。

内容

基本となる楷書から入り、行書、草書と臨書を進めていきます。実用書として細楷の練習にもなる写経と年賀状などの作成。大字作品を書くということで条幅にも揮毫します。

臨書で培った力を発揮した創作作品にも挑戦してみたいと思います。

書道史は、現在見ることのできる最古の文字である甲骨文から、書の黄金時代と言える唐の時代までを範囲とします。時代の進展とともに様々な書体が生まれてきた過程、各時代の書家や作品について、伝わる逸話なども加えながら解説します。

(前期)

実技 楷書の結体を習得するために、初唐の三大家の代表的作品を臨書する。

行書学習として、王羲之の名品である蘭亭序の臨書。

般若心経の書写。

条幅作品の制作。

書道史 殷・周・秦代の書である篆書の資料の鑑賞と説明。

漢代の隷書の碑群、木簡などについて。

すべての書体がそろう三国時代。書道史の中心となった王羲之の登場と筆跡資料について。

(後期)

実技 独創的な書風を開拓した顔真卿の楷書を臨書。

集字聖教序、枯樹賦、風信帖等の臨書により行書の技法を学ぶ。

草書学習として、十七帖、書譜を臨書。

隷書、篆書にも触れてみる。

干支を意識した年賀状の作成。

一年間の集大成に自由な題材を選んで創作作品を書く。

書道史 北魏、隋、唐時代の書について。

初唐の三大家による楷書の完成と、多数の名筆について鑑賞する。

評価

各法帖の清書・写経・条幅等、作品による評価60点、ペーパーテスト30点、受講態度10点により評価を行い、60点以上を合格とする。但し、各作品の提出とペーパーテストはともに必須事項。

授業時数の3分の1以上の欠席は不認定となります。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】久米東邨編著『書道芸術（漢字編）』（萱原書房）

科目名	基礎書道		
担当教員名	小林 弘子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	0Cクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

文字を美しく書くことを「書道」と呼んでいます。毛筆で書く文字には活字にない美しさがあります。長い歴史の中で残された古人の優れた書を鑑賞し、古典に立脚した正しい実技の習得を目指します。そして書の良さ、美しさをしっかり受け止める力を養い、書く楽しさを身につけてほしいと思います。

授業では、十数種の名筆を手本にして臨書し、他と比べることで個々の良さがより鮮明になることをねらっています。漢字の基本となる知識や技法を十分に修得して、自己を表現できる芸術性のある書へと展開して行ってほしいと思います。

内容

基本となる楷書から入り、行書、草書と進めていきます。実用の書として細楷の練習にもなる写経と、大字作品を書くということで条幅にも揮毫します。

書道史は、現在見ることのできる最古の文字である甲骨文から、書の黄金時代と言える唐の時代までを範囲とします。時代の進展とともに様々な書体が生まれてきた過程、各時代の書家や作品について、伝わる逸話なども加えながら解説します。

(前期)

実技

楷書の結体の習得のために、初唐の三大家の代表的作品を臨書する。

行書学習として、王羲之の名品である蘭亭序の臨書。

般若心経の書写。条幅作品の制作。

書道史

殷・周・秦代の書である篆書の資料の鑑賞と説明。

漢代の隷書の碑群、木簡などについて。

すべての書体がそろった三国時代。書道史の中心となった王羲之の登場と筆跡資料について。

(後期)

実技

独創的な書風を開拓した顔真卿の書。

集字聖教序、枯樹賦、風信帖等の臨書により行書の技法を学ぶ。

草書学習として、十七帖、書譜、千金帖を臨書。他に、造形的魅力を持つ隷書を書いてみる。

書道史

北魏、隋、唐時代の書について。

初唐の三大家による楷書の完成と、多数の名筆について鑑賞する。

評価

各法帖の清書・写経・条幅等、作品による評価60点、ペーパーテスト30点、受講態度10点により評価を行い、60点以上を合格とする。

但し、各作品の提出とペーパーテストはともに必須事項。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】久米東邨編著『書道芸術（漢字編）』（萱原書房）

科目名	日本文学史（古代）		
担当教員名	赤間 恵都子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

私たちの祖先はどのような文学を生み出し、それをどのように発展させていったのか。古代の歴史や文化の流れをたどりながら、上代・中古文学の代表的な作品にふれ、日本文学の始まりとその展開について学ぶ。

内容

はじめに文学史における時代区分とその歴史的背景について学習し、次にそれぞれの時代を代表する個々の文学作品を取り上げて時代と作品、作品相互の関係に留意しながら、作品の本文の一部を鑑賞して味わう。

授業計画

- (1)序・文学史とは何か 文学の始発
- (2)上代文学の時代区分と歴史的背景
- (3)『古事記』『日本書紀』の成立
- (4)『万葉集』の誕生
- (5)その他の上代文学・まとめ
- (6)中古文学の時代区分と歴史的背景
- (7)勅撰和歌集の誕生
- (8)初期物語の世界 作り物語
- (9)初期物語の世界 歌物語
- (10)日記文学の誕生
- (11)女流日記文学の世界
- (12)後宮社会と『枕草子』
- (13)『源氏物語』と後期物語
- (14)歴史物語と説話文学
- (15)その他の中古文学・まとめ

評価

平常点30点とペーパーテスト70点で、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】秋山虔・桑名靖治・鈴木日出男編『日本古典読本』（筑摩書房）

科目名	日本文学史（古代）		
担当教員名	赤間 恵都子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

私たちの祖先はどのような文学を生み出し、それをどのように発展させていったのか。古代の歴史や文化の流れをたどりながら、上代・中古文学の代表的な作品にふれ、日本文学の始まりとその展開について学ぶ。

内容

はじめに文学史における時代区分とその歴史的背景について学習し、次にそれぞれの時代を代表する個々の文学作品を取り上げて時代と作品、作品相互の関係に留意しながら、作品の本文の一部を鑑賞して味わう。

授業計画

- (1)序・文学史とは何か 文学の始発
- (2)上代文学の時代区分と歴史的背景
- (3)『古事記』『日本書紀』の成立
- (4)『万葉集』の誕生
- (5)その他の上代文学・まとめ
- (6)中古文学の時代区分と歴史的背景
- (7)勅撰和歌集の誕生
- (8)初期物語の世界 作り物語
- (9)初期物語の世界 歌物語
- (10)日記文学の誕生
- (11)女流日記文学の世界
- (12)後宮社会と『枕草子』
- (13)『源氏物語』と後期物語
- (14)歴史物語と説話文学
- (15)その他の中古文学・まとめ

評価

平常点30点とペーパーテスト70点で、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】秋山虔・桑名靖治・鈴木日出男編『日本古典読本』（筑摩書房）

科目名	日本文学史（中世・近世）		
担当教員名	平野 多恵		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

日本の古典文学の多くは、当時の社会や政治の動きと密接に繋がっている。本講義では、中世（鎌倉・南北朝・室町時代）・近世（江戸時代）の文学を取り上げ、歴史的な背景と文学の展開を明らかにしながら、それぞれの文学の特色と時代精神を考える。

内容

ジャンルごとに歴史的背景を説明しながら、適宜、鑑賞も交えて文学の流れを追う。

【中世文学】

- 1 中世文学の概観
- 2 和歌
- 3 連歌・歌謡
- 4 擬古物語・歴史物語
- 5 軍記物語・おとぎ草子
- 6 説話・随筆
- 7 日記・紀行
- 8 法語・五山文学・能・狂言

【近世文学】

- 9 近世文学の概観
- 10 和歌・狂歌・俳諧・川柳
- 11 仮名草子・浮世草子・八文字屋本
- 12 洒落本・滑稽本・人情本・草双紙
- 13 国学・浄瑠璃・歌舞伎
- 14 予備日
- 15 試験

評価

授業中に提出する課題（20点）・平常の受講態度（10点）・ペーパーテスト（70点）により総合的に評価します。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

適宜、プリントを用意します。

科目名	日本文学史（中世・近世）		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

日本の中世文学・近世文学の展開を歴史的にあとづけ、それぞれの文学の特質と時代精神を考察する。
 中世＜戦乱の時代＞と近世＜泰平の世＞のさまざまな有り様を眺めたい。文学史の意義もあわせて考えてゆきたい。
 なお、同時代の文化・諸芸術の面白さについても、映像や音楽や複製品で触れてゆく。

内容

1 序 文学史とはなにか

中世文学

2 序 時代区分・時代背景・特色

3・4 韻文 a和歌 b連歌・俳諧の連歌 c歌謡

5 散文 a擬古物語 b歴史物語 c軍記物語

6 d説話文学 e日記・紀行・随筆 f御伽草子

7 その他（能・狂言／法語・五山文学）

8 作品鑑賞（DVD）

近世文学

9 序 時代区分・時代背景・特色

10 韻文 a和歌 b狂歌 c俳諧 d川柳

11 散文 a仮名草子 b浮世草子 c八文字屋本 d前期読本 e洒落本

12 f草双子 g後期読本 h合巻 i滑稽本 j人情本

13 その他（浄瑠璃・歌舞伎・国学）

14 1 5 作品鑑賞（DVD）

評価

出席40点・レポート60点により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

[教科書]久保田淳編『日本文学史』（おうふう）

科目名	詩歌研究		
担当教員名	稲葉 美樹		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本文学において、和歌は長い間中心的な存在であった。他のジャンルの作品も、和歌に関する知識が皆無では正しく理解することはできない。しかし、高校までで和歌について学ぶ機会は多くはなかったと思う。そこで、この講義では、上代から現代までの和歌を読んで和歌に関する基本的な知識を身につけることを最低限の目標とする。さらには、一口に和歌といっても、時代によって大きく特徴が異なるので、その変化を学んでほしい。またその一方で、和歌を味わっていると、古代の人も現代の私たちと少しも変わらない心を持っていることに気づき、共感するところがあるはずである。昔の人の心を理解することによって、私たちの心の中にもあるはずの、日本人が培ってきた美意識を見つめる機会ともしたい。

内容

前期(回数はめやす)

第1回 和歌を解釈する上で必要な、基本的なことについて解説する。

第2回～第6回 『万葉集』を読む。

第7回～第14回 中古の和歌を、勅撰集を中心に読む。

第15回 試験。

後期

第1回～第7回 中世の和歌を、『新古今集』とその時代の歌人の私家集、および京極派歌人の作品を中心に読む。

第8回～第14回 近世から現代までの和歌を読む。

第15回 試験。

評価

期末試験(2回)60点、出席状況20点、授業中の態度20点で、総合的に判断し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】神野志隆光・芳賀紀雄他編『和歌文学選 歌人とその作品』(和泉書院)

科目名	物語文学の世界		
担当教員名	赤間 恵都子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本を代表する物語文学といえば、なにはともあれ『源氏物語』でしょう。絶世の美男子でオールマイティなあの光源氏の話です。光源氏はプレイボーイだから嫌いだという現代女性の意見をよく聞きますが、彼が生まれた時代背景は、現代とは全く異なる絶対的な身分制社会でした。皇子という最高の血筋を引いた理想的な男性に声をかけられただけで、誰もが舞い上がってしまう時代です。多くの女性達が光源氏を一目見ることを望み、彼を恋い慕いました。

そんな光源氏の妻になり、最も長い時間を共に過ごしたのが紫の上です。成長して正妻の位置を確保したと安心した途端に、夫が自分以外の女性との間に子供を作ったり、身分の高い新しい妻を迎えて苦しみます。やはり人間の気持ちは今と変わりませんね。そう、『源氏物語』が時には映画や漫画や宝塚歌劇など様々なメディアを通して現代に受け入れられているのは、人間の心の真実が時代を超えて伝わってくるからなのです。それこそ作者紫式部がこの物語を書いた目的でした。永遠の古典作品を、原文を味わいながら一緒に読んでいきましょう。

内容

使用するテキストは、物語中のいくつかの場面をピックアップしながら全体の概要がわかる形になっています。以下、テキストの目次に沿って、各時間の授業内容を書いておきます。

1	ガイダンス
2	作者について
3	作品の概要
4	物語の始まり
5	桐壺の更衣(桐壺巻)
6	雨夜の品定め(帚木巻)
7	隈なき月影(夕顔巻)
8	紫のゆかり
9	若紫の君(若紫巻)
10	心の鬼(紅葉賀巻)
11	車争い(葵巻)
12	野宮の一夜(賢木巻)
13	心づくしの秋(須磨巻)
14	母子の別離(薄雲巻)
15	前期まとめ

評価

出席率・平常点40点、ペーパーテストまたはレポート60点

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】秋山虔他編『源氏物語読本』筑摩書房

【参考図書】『源氏物語』の参考文献はとてもたくさんあるので、授業で適宜紹介します。

科目名	中古文学論		
担当教員名	赤間 恵都子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

『枕草子』といえば、「春はあけぼの」で有名な清少納言の作品である。短くてテンポの良い文体、作者の繊細で鋭い観察眼には現代人も驚き、共感をいだく。また、そこに綴られた中宮定子の逸話は後宮文化の象徴として平安文学の中で輝いている。和歌でも物語でもない、まったく新しい形態の作品がなぜ生まれたのか、その理由を作者の側と時代背景から探っていくのがこの授業のねらいである。

まず、『枕草子』の原文を読んで作品を耳で味わう。そして、周辺資料から作品に書かれなかった事情を探して、より深く『枕草子』を知る。授業を受けた後に、これまで知っていたものとば別の『枕草子』の世界がとらえられると思う。

内容

作者清少納言が宮仕えに入り、中宮定子や同僚の女房たちと交流を深めていった年月にそって、日記的章段と呼ばれる章段を取り上げて読んでいく。また、季節の風物を観察した随想段、人間観察が鋭い類聚段なども適宜取り上げ、一年間の授業を通して枕草子の全体像がとらえられるようにしたい。

1	ガイダンス
2	作者について
3	作品について 成立の事情
4	作品について 内容について
5	作品講読 宮にはじめてまゐりたるころ
6	作品講読 "
7	作品講読 "
8	作品講読 木の花は
9	作品講読 鳥は
10	作品講読 清涼殿の丑寅の隅の
11	作品講読 "
12	作品講読 山は
13	作品講読 うつくしきもの
14	作品講読 うれしきもの
15	前期まとめ

評価

前期、後期共にペーパーテスト、またはレポート課題を行い、レポート40点、ペーパーテスト40点、平常点20点で評価し、総合60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】【推薦書】いずれも開講後に指示する。

科目名	中世文学論		
担当教員名	平野 多恵		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

中世文学を代表する随筆『徒然草』を一段ずつ丹念に読み進め、作者兼好の生きた時代への歴史的な知識を深めながら、兼好の考えを理解する。兼好と現代を生きる私たちとの共通点・相違点を明らかにしつつ、周辺資料にも目配りして、生きた古典として『徒然草』を読むことを目指す。

内容

第1・2回 兼好法師とその時代

『徒然草』の作者兼好法師の人生と時代背景を概観する。

第3回 『徒然草』について

『徒然草』がどのような作品かを解説する。

第4回～ 序段から『徒然草』に特徴的な章段を適宜選んで講読する。

前後の章段との関連に注意しながら丁寧に読み進め、兼好の考えを理解してゆく。

『徒然草』には、理想の人物像・男性・女性・子ども・友人・住まい・旅等々、現代に通じる興味深い話題が数多く載っている。それらの話題に絡め、折に触れて質問や課題を出す。授業中に書いて提出してもらい、兼好と自分がどのように重なり、どのように異なるのかを具体的に考える手がかりとする。

評価

平常の受講態度(10点)・授業中に提出する課題(30点)・学年末のペーパーテスト(60点)によって、総合的に評価する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】稲田利徳編『校注徒然草』(和泉書院)

科目名	近世文学論		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

人間はなぜ旅にあこがれ出てゆくのでしょうか？<人間にとって旅とは何でしょうか？>あなたはどんなときに、日本の何処へ、世界の何処へ、宇宙の何処へ旅に出てみたいですか？

西洋と東洋におけるさまざまな旅の軌跡を辿ってみましょう。世界にはさまざまな旅を記録した日記や、フィクションをこめた紀行文があります。庶民・芸術家・その他の、現実的な旅、空想旅行、悲しみの旅、静養の旅、留学への旅、芸術創造への旅など、いろいろな種類があります。まず世界の紀行文を興味深くみてみましょう。そのうえで、日本において書かれた数編の紀行文を読んでみましょう。

近世文学(江戸時代)では、女性たちの温泉紀行等も書かれ、上田秋成は家に居ながらにして架空紀行『去年の枝折(こぞのしおり)』を書きました。そして松尾芭蕉は5つの紀行文を書きました。元禄2年の奥州旅行をフィクション化して書いた『おくのほそ道』は、<ひとつの大きな詩である>ともいわれています。また、近代文学(明治時代)の夏目漱石は、英国留学への船旅の数ヶ月間を克明に手帳に記録しています。巨視的な視野のなかで<西洋と東洋の旅の文学>を考え、<芸術にとって旅とはなにか？>を考えつつ、松尾芭蕉の5つの紀行文をたのしく読みながら、その独創性を考えてみましょう。

内容

【前期】

- 1 序 西洋と東洋の旅 / 人間にとって旅とは？
- 2 サン・テグジュペリ『星の王子様』-----児童文学における旅
- 3 メーテルリンク『青い鳥』
- 4 セルバンテス『ドン・キホーテ』-----虚構の旅
- 5・6 スウィフト『ガリバー旅行記』と宮崎駿『天空のラピュタ』
- 7・8 アンデルセン『スウェーデン紀行』- - - -地誌・見聞記との比較
- 9・10 西洋と日本の巡礼記-----絵画との比較
- 11・12 『土佐日記』『東海道中膝栗毛』等-----日本の古典の旅
- 13・14 スペシャル篇-----芭蕉の弟子「其角」の伊達の文学
- 15 まとめ

【後期】

- 1 ギャグ・マンガ日和、その他(VTR)
- 2 【芭蕉の生涯】 郷里出奔まで
- 3 深川退隠 漂泊の旅
- 4 【芭蕉の紀行文】
- 5 五紀行文の特色
- 6・7 【『おくのほそ道』の解説】
- 8~13 各章段 VTR
- 14 芥川龍之介「枯野抄」

評価

出席30点、授業態度10点、レポート60点などの評価により、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 穎原退蔵・尾形昶訳注『新版おくのほそ道』（角川ソフィア文庫）

その他、各旅行記については、プリントを配布する。また、参考文献は、授業で紹介する。

科目名	近代文学論		
担当教員名	小嶋 知善		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本近現代文学を代表する作家の短編から、 都市 をめぐって語られた小説テクストを読む。

作品を読みながら双方向性の授業形態で、受講生の意見や感想を述べてもらう。

具体的には、(1)タイトル、主人公……といった、小説を読む際の基本事項を確認する。(2)作家たちが 都市 の何に魅力を感じたのか、舞台となる 都市 はどのような空間か、われわれの描く 都市 のイメージはどのようなものか… …など、 都市 について考える。

内容

取り上げる作家は、大江健三郎、三島由紀夫、江戸川乱歩、志賀直哉、田山花袋といった、国語国文専攻の学生なら1度は目を通しておきたい作家である。単にテクストを読むだけではなく、自分が行ったことのある都市空間、自分が生まれ育った空間、イメージと結び付いた空間……など、いろいろなことを感じ、話し合う授業にしたい。

授業で取り上げた小説以外の代表作については、レポート課題とする。

教科書は、小説の発表年にそって編年体で編集されているが、発表年のさかのぼって読んでいく。

ガイダンス

大江健三郎『人間の羊』の読解。

三島由紀夫『橋づくし』の読解。

織田作之助『木の都』の読解。

江戸川乱歩『目羅博士』の読解。

堀辰雄『水族館』の読解。

中野重治『交番前』の読解。

横光利一『街の底』の読解。

梶井基次郎『檸檬』の読解。

芥川龍之介『舞踏会』の読解。

志賀直哉『小僧の神様』の読解。

谷崎潤一郎『秘密』の読解。

国木田独步『窮死』の読解。

田山花袋『少女病』の読解。

樋口一葉『十三夜』の読解。

評価

出席の状況および授業での発言など(50%)。レポート課題(50%)。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】東郷克己・吉田司雄編『近代小説 都市 を読む』(双文社出版)

科目名	現代文学論		
担当教員名	小嶋 知善		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

現代文学の世界で活躍している女性作家の作品を読解していくことで、彼女たちがどのような観点から現代を切り取っているかを考える。

作品を丁寧に読解していくことで、創作方法や構成や文体の特徴などについても考察する。

川上弘美を中心にして、他には小川洋子・よしもとばなな・江國香織・山田詠美などの作家についても考える。

内容

教科書をもとに、作品(短編小説)を読解していく。長編に関しては、レポート課題として提出してもらおう。双方向型の授業を目指し、受講生の作品に関する意見などを取り入れて授業を行う。作品によっては、学生によるレポートもやってもらう。

1. 本授業のガイダンス。
2. 川上弘美「運命の恋人」の読解。
3. 川上弘美「ときどき、きらいで」の読解。
4. 川上弘美「椰子の実」「ざらざら」の読解。
5. 川上弘美「花野」「北斎」の読解。
6. 川上弘美「? 鼠」の読解。
7. 川上弘美「おめでとう」の読解。
8. 川上弘美の長編小説について(『センセイの鞆』文春文庫,2004)。
9. 川上弘美の短編集について(『神様』中公文庫,2001、『蛇を踏む』文春文庫,1999)。
10. 小川洋子の作品について。
11. よしもとばななの作品について。
12. 江國香織の作品について。
13. 山田詠美の作品について。
14. 多和田葉子の作品について。
15. 現代の女性作家について(本授業のまとめ)。

評価

出席の状況および授業での発言など(50%)。レポート課題(50%)。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】川上弘美『はじめての文学 川上弘美』(文藝春秋)

科目名	幻想文学論		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

みなさんは「幻想文学」と聞いてどのような文学作品を思い浮かべるでしょうか。荒涼とした古城に夜な夜なあらわれる亡霊、異世界からの来訪者、現実とは思えない幻想的なモノたちをめぐる物語……。もっとも「文学」を人間の観念による営みと考えれば、「文学」はなにがしかの幻想に基づいているということもできます。「幻想」とはどのようなものをさすのでしょうか。この講義では、「幻想文学」とはどのような特徴を持つ文学なのか、を考えながら、幻想文学の作品を読み解きます。具体的には、西洋的な近代小説とはやや遠いところに位置づけられる、声や身体による伝承と深くつながりを持ち、民俗的な想像力を豊かな土壌として生み出されたと考えられる文学作品を扱う予定です。

内容

- (1) イントロダクション
- (2) 幻想文学とは何か（その一）
- (3) 幻想文学とは何か（その二）
- (4) 日本の幻想文学の系譜（その一）
- (5) 日本の幻想文学の系譜（その二）
- (6) 泉鏡花『高野聖』 異界への誘い（その一）
- (7) 泉鏡花『高野聖』 異界への誘い（その二）
- (8) 小泉八雲『怪談』 精霊の住む国の物語（その一）
- (9) 小泉八雲『怪談』 精霊の住む国の物語（その二）
- (10) 宮沢賢治『なめとこ山の熊』 動物と人間の交歓（その一）
- (11) 宮沢賢治『なめとこ山の熊』 動物と人間の交歓（その二）
- (12) 深沢七郎『榎山節考』 棄老の伝説と真実
- (13) 深沢七郎『榎山節考』 棄老の伝説と真実
- (14) 近代文学と民俗的想像力
- (15) まとめ

講義内容は必要に応じて変更することがあります。

評価

レポートまたは試験60%、授業時の小レポートなど平常点30%、出席点10%の配分で評価します。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキストは開講時に指示します。参考文献は授業中必要に応じて紹介します。取り上げる予定の作品はできるだけ事前に読んでおいてください。

科目名	エッセイ入門		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

なにげなく見過ごしがちな、日常の細々とした事象に目を向け、文章というかたちですくいとることを目的としています。

内容

前期テーマ：「今朝の私」を書く。

作家のエッセイを鑑賞・筆写することと、実際に自分で書いてみることを、隔回ごとに繰り返しながら、文章構成の技術や、文体のバリエーションを身につけるための基礎訓練を行います。

後期のテーマ：自分の視点を確立する。

毎回の課題作文を通じて、他人に読ませるための文章技術を学びます。

おもに取り上げる課題は、「季節の気配」「町並み」「ピンチ」「食べる」「寝る」「歩く」など。

その他、受講者の顔ぶれに応じて対応します。

評価

出席(50%)夏・冬2回の宿題(各25%)。合計60%以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

幸田文『季節のかたみ』(講談社文庫)

須賀敦子『ユルスナールの靴』(白水Uブックス)

科目名	説話の世界		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

近年、夢枕獏の小説『陰陽師』をひとつの契機として、小説・コミック・テレビ・映画・ゲームなどのさまざまなメディア（＝表現世界）では、安倍晴明（あるいは陰陽師）が主役となり脇役となりして活躍している。式神を駆使し、呪術によって悪鬼・怨霊を鎮める活躍ぶりはまるで架空の人物のようだが、晴明は平安時代中期に実在した陰陽師である。なぜ彼はそうした異能の呪術者として説話化されることになったのだろうか。本講義では、陰陽道の基本思想・形成過程を概観したうえで、安倍晴明説話を具体的に読み、説話の生成過程を考えることにしたい。また、陰陽道が日本文化に与えた影響を合わせて見ていきたい。

内容

- ・ イントロダクション
 - 『陰陽師』・陰陽道占いブームと現代
- ・ 日本文化と陰陽道
 - (1) 陰陽道の基本思想 (2) 平安京と陰陽道 (3) 平安貴族の精神世界
- ・ 安倍晴明 説話を読む
 - (1) 『今昔物語集』『宇治拾遺物語』の中の晴明 (2) 日記・記録の中の晴明
 - (3) 語り物・歌舞伎のなかの晴明 (4) 説話化される晴明
- ・ 民俗社会のなかの晴明
 - (1) 各地の晴明伝承 (2) いざなぎ流と地方陰陽師の系譜

評価

レポート30%、試験30%、平常点（授業時に小レポートなど）20%、出席点20%の配分で評価します。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキスト：開講時に指示する。

参考文献：授業中随時紹介する。

科目名	おとぎ話と紙芝居		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

遙かなたの子どもの日々の、お気に入りの場所で貴女はどんなおとぎ話や紙芝居を楽しんだらう？

小澤俊夫氏は、『昔話入門』のなかで、「人間存在の真相を示す昔話」とその本質を述べている。また、マックス・リュウティは、ヨーロッパの昔話について、「昔話はどんな材料でも簡潔にまとめ、純化してしまう様式形態をもった含世界性の冒険物語である」と語っている。さあ、もう一度子ども時代に親しんだ日本のおとぎ話や世界の昔話を、楽しく研究してみよう。日本のおとぎ話の源流は、中世文学の御伽草子で、その本文を味わってみたい。そして、現代の本文と比較・分析をしてみよう。また日本の紙芝居は、その源流は古いが、現在の形になったのは近代である。そして、アニメ以前に存在した日本のオリジナルな文化なのである。タイにも文化輸出され、タイでも紙芝居が作られている。昭和初期から戦争中の紙芝居も、所蔵しているものを鑑賞し、考究してみることにする。そして、アジアやヨーロッパの童話についても読んでみたい。中国・タイやフィンランド・ドイツなどの子どもたちの児童文学の世界を探ってみたい。今回は、<おとぎ話や紙芝居の研究>とともに、<創作>として作品を、<パフォーマンス>としてBGM制作・グループ演劇・声の朗読演技などを試みてみたい。また、アジアや世界の子どもたちの文化を、現代のVTR やDVD で、リアルタイムに味わってみる。

内容

序 世界の昔話 美智子さまの講演記録から

1～ 3 日本の御伽草子・日本の昔話・現代のおとぎ話等（一寸法師・鉢かづき・物くさ太郎など・・・）

4～ 6 世界の昔話・童話（グリム童話・ペロー作品・ムーミンなど・・・）

グリム兄弟の世界・アンデルセンの世界

7・ 8 昔話・おとぎ話の理論（日本昔話・・・） 石井桃子の世界

9～11 紙芝居の歴史・紙芝居の実演

（昭和の本物の紙芝居・現代の紙芝居・・・戦争中の紙芝居からアンパンマンまで）

12～14 VTR・創作・パフォーマンス（不思議の国のアリス・オズの魔法使い・小公子・・・）

15 国際児童図書館の見学会

ゲスト（昔話研究所の方・朗読のプロの方）

尚、国際児童図書館（上野）の見学予定。

評価

出席20点、授業態度20点、見学会10点、レポートか童話創作50点などにより、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業中にプリントを、毎回配布する。

【推薦書】小澤俊夫編著『昔話入門』（1997年、ぎょうせい）

【参考図書】ロジェ・カイヨワ著、多田・塚崎訳『遊びと人間』（1990年、講談社学術文庫）

市古貞次校注『御伽草子（上・下）』（1985・86年、岩波文庫）

科目名	民俗文化論		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

私たちは最先端の高度情報化社会を生きていますが、一方でお正月には餅を食べ、初詣でに行き、高層ビルを建てる際には地鎮祭をするなど、昔からやっているからと何気なく行っていることがたくさんあります。このように繰り返される伝統的な生活習慣や意識を探るのが 民俗学 といってよいでしょう。したがって民俗学を学ぶことは私たち自身のありかたを見つめ直すことでもあります。この授業では、総論として日本民俗学の理論と方法のおおよそを学び、さらにその成立と展開について、日本民俗学の生みの親柳田国男の生涯と思想の問題と関連させながら考えて行きます。

内容

- ・ イントロダクション
 - 身近にある民俗・民俗学と古典文学・民俗学の魅力
- ・ 民俗学的発想について
 - (1) 民俗 という語 (2) 民俗 の中身・範囲 (3) 常民 と 常民性
 - (4) フィールドワークとデスクワーク (5) 重出立証法と方言圏論
- ・ 柳田国男と日本民俗学の生成
 - (1) 民俗学の先達(本居宣長・平田篤胤)
 - (2) 柳田国男
 - a. 民俗学以前(世界への願望と経世済民の志向)
 - b. 民俗学の胎動(異族としての山人)
 - c. 民俗学の確立(稲と常民のいる日本)
 - (3) 折口信夫

評価

テスト60%、レポート30%、出席点10%の配分で評価します。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキスト：開講時に指示します。

参考文献：民俗学の概論書としては、柳田国男『郷土生活の研究法』(ちくま文庫『柳田国男全集』)、柳田国男・関敬吾『日本民俗学入門』(復刊・名著出版)、和歌森太郎『日本民俗学』(弘文堂)、上野和男他編『民俗研究ハンドブック』(吉川弘文館)、福田アジオ他編『日本民俗学概論』(吉川弘文館)などがある。そのほか参考文献は授業中随時紹介する。

科目名	小説入門		
担当教員名	小嶋 知善		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

小説の実践的な創作実習や作品の合評を通じて、表現能力を養う。全員が創作集に載せる作品を創作することで、創作の技法を向上させる。

内容

受講者相互の発表や討議、教師による添削及び講評を通じて、各人の創作モチーフが優れた作品として具現できるようにする。

優れた 小説の書き方 を論じた著作・論考を授業でとりあげ、その技法や理論を各自が自作に反映させるように試みる。自分自身で実際に小説を創作することを通じて、文学作品に対する読解の深化を図る。さらに、そのことが自身の創作に反映するというような、相乗的文学理解が得られるようになる。

小説の執筆に必要なテーマの設定・取材・プロット構想・ストーリー構成・語り（文体）の選択などの基礎作業を踏まえた上で、実作において各自の表現技術を向上させる。

作品に対する客観的な批評尺度が身につくようになる。

評価

実際に創作した作品を提出してもらおう。その後、相互評価を行う。また、文学作品を読解し、その表現技法などもレポートしてもらおう。出席点も評価する。創作物の提出60%、出席・授業への参加40%

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は授業中に指示する。参考書として手軽に入手できる入門書は、中条省平『文章読本 文豪に学ぶテクニック講座』（中公文庫、2003）高橋源一郎『一億三千万人のための 小説教室』（岩波新書、2002）清水良典『2週間で小説を書く！』（幻冬舎新書、2006）など。

科目名	日本の歴史		
担当教員名	橋本 克己		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

1. 位置づけ

この科目はコース選択科目(専門教育科目)である。

2. 教育目標

本科目は、日本社会の歴史について学ぶものである。今年度は、とくに「現代史」に焦点を当てて授業を構成する。主に「昭和史」を概観し、世界と日本がどのような関係を持ってきたのか、満州事変以降の「大東亜戦争」の本質は、何だったのかを考察する。貴重な記録映像を活用し、視聴覚的なアプローチを試みる。

内容

15週のうち14週を下記の内容で授業する。最終15週は筆記試験を行う。

1. 「昭和」という時代のはじまり

- (1) 昭和恐慌と満州事変の勃発
- (2) 不安な時代と大衆文化の動向

2. 対中国戦争の本格化

- (1) 日中戦争と戦時体制の強化
- (2) 庶民文化の統制 学問・思想への弾圧

3. 太平洋戦争と破局への道

- (1) 第二次世界大戦の勃発と欧州の情勢
- (2) 初期「太平洋戦争」 真珠湾への道 マレー半島攻略 大東亜共栄圏構想
- (3) ガダルカナル島の戦闘 中部太平洋での失策と無謀な戦線拡大
- (4) インパール作戦の実態
- (5) サイパン島陥落に至る諸問題
- (6) 硫黄島・沖縄の「玉砕」とポツダム宣言受諾への道程

4. 連合国(アメリカ主体)による「占領政策」と日本文化の動向

評価

主に課題と定期考査時の筆記試験により評定を算出する。算定に当たっては、出席30:課題と試験70の比率で、合計60点以上を単位認定する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

1. テキストは、特に指定しない。
2. 岩波新書、講談社現代新書などに関連図書が多数刊行されている。また、高等学校で使用した「日本史」の文部科学省検定済み教科用図書は重要な資料となる。

科目名	書物の文化		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

みなさんは「本」というと、どのようなものを思い浮かべますか？ほとんどの人が、いま一般に書店で並んでいるような、活字の印刷された書籍を想像したのではないのでしょうか。しかし、このような活字による印刷本は明治時代以後に広まったもので、江戸時代には版木に文字を彫って刷った「版本」がほとんどでしたし、室町時代以前には、筆と墨によって一冊一冊を写し書きした「写本」が書籍の基本でした。本講義では、「写本」や「版本」の種類・仕組み・装丁・紙・文字・取り扱い方法など、書物をめぐる歴史や文化を幅広く学びます。

内容

前期

- 第1回 和本とは何か？
- 第2回 書物の起源
- 第3～5回 和本の製法と種類
- 第6回 糊でつくる和本(実習)
- 第7回 和本の綴じ方
- 第8・9回 糸で綴じる和本(実習)
- 第10～12回 和紙の装飾
- 第13・14回 装飾料紙をつくる(実習)
- 第15回 前期まとめ

後期

- 第1～4回 書誌調査の基礎知識
- 第5・6回 書誌調査(実習)
- 第7回 和本の補修(実習)
- 第8～13回 変体仮名を読む
- 第14回 変体仮名を書く(実習)
- 第15回 学期末試験

評価

平常の受講態度(10点)・授業中に提出する課題(40点)・学期末試験(50点)により総合的に評価します。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】笠間影印叢刊刊行会『字典かな 出典明記 改訂版』(笠間書院)

科目名	比較文化論		
担当教員名	マブソン ローラン		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この授業では、フランス出身の日本学者・俳人・エッセイストである担当教員と共に、東西の詩歌（俳句、西洋詩、民謡、国際ハイク等）を具体的に扱い、日本詩歌と西洋詩との相違点・共通点を検証してゆく。同時に、文化論への広がりを目差し、日本文化全般にみる特質、あるいは普遍性を再発見してゆく。

内容

前期では授業の一角として担当教員の自伝的エッセイ「青眼句日記」（『一茶とワイン』、角川書店）を読み、後期では短編小説や俳句の実作指導も行います。また、ビデオを使ってオペラ、バレエ、映画などを参考資料にします。

前期 1：序説として、“余情的文化”（日本）と“叙情的文化”（欧米）の相異 2：海外連句批評、連句にみる日本文化の特質 3：江戸時代の日本文化とバロック・ローマン派芸術論、近代性とは何か？ 4：一茶の笑い、ベルグソンの「笑い理論」に基づいて 5：俳諧史にみる身分制度の歴史、フランスとの比較 6：ジェンダーと東西の文学 7：ポール・クローデルについて、西洋詩における「余情性」の可能性 8：詩歌における音韻の問題 9：日本文化における「聴覚」 10：日本文化におけるアニミズム的感性とエコロジーの問題 11：日本文化における「嗅覚」 12：西洋における日本文化の受容、文化間の対話をどのようにすすめるべきか？ 13：アラブ文化史、アジア諸文明における時間意識再考 14&15：まとめ

後期 1：「エスプリ」と「笑い」の違い、連句にみる「エスプリ」 2：現代俳句における古典（カノン化）と国際化の問題 3：諸国の民謡にみる普遍的な感性について 4：農村生活にみる普遍的な感性（葡萄酒の歴史、「風土の味」（terroir）とは何か？） 5：白鳥処女伝説、チャイコフスキー『白鳥の湖』を中心に 6：白鳥騎士伝説、ワグナー『ローエングリン』を中心に 7：農村におけるアニミズムとエコロジーの関係 8：十九世紀フランスの女性史（G・サンドを中心に） 9：幼児文学、子供俳句の国際化について 10～14：俳句の実作指導（句会） 合同句集作成 15：まとめ

評価

前期の終わりに、授業内容に基づくレポート（小論文）を課す。テーマの扱い方、構成（起承転結と論理性）、独創性を総合的に評価する。後期では口答試験と実習を行います。

前期80%、後期20%で、合格は100点満点のうち60点以上とする。出席は授業回数の3分の2を必要とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】マブソン青眼著『一茶とワイン - ふらんす流俳諧の楽しみ』（角川書店・2006）

【推薦書】マブソン・ローラン著『詩としての俳諧、俳諧としての詩』（永田書房・2005）

科目名	精神文化論		
担当教員名	平野 多恵		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

昔から人間の生活に占いは欠かせないものでした。本講義では、占いについて様々な角度から検証し、日本文化における占いの歴史や意義を考えていきます。

内容

第1回 占いとは？

第2回 占いの起源と役割

第3～5回 中国起源の占い

第6～8回 日本における占い

第9～11回 和歌による占い

第11～14回 おみくじと占い

第15回 筆記試験

評価

平常の受講態度(10点)、授業中に提出するリアクションペーパー(20点)、筆記試験(70点)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

適宜、プリントを配布します。

科目名	メディア・リテラシー		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

私たちはいまどんな時代に生きているのか？ ずばりこんな大それた事を、考えてみたいと思います。といってもむずかしい話ではありません。みなさんの身の回りにある品々から、みなさんと「世界」とのつながりについて確認してみようということ、そして、どうしたら自分らしく生きられるか考えようというのが、この授業のねらいです。

内容

1	授業案内
2	メディアは二つの意味をはこぶ
3	我々は 状況 に囲まれている
4	メディアは意外と業が深い
5	メディアは欠落を付け足す
6	タイアップソングとブーム
7	音楽の肌触り
8	書を捨てよ、街へ出よ
9	外側の忘却
10	愛を映像化する
11	メディアとしての外国語
12	メディア社会と個人
13	メディアと物語
14	身の回りにある物語
15	総括

評価

毎回のリアクション・ペーパー50点、学期末レポート50点。合計60点以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	日本語の世界		
担当教員名	田鍋 桂子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状(国語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

「じ・ぢ」は文字が違うけど発音も違うの？フランスはどうして漢字で「仏」と書くの？「森鷗外」と「森? 外」は違うの？「うざい」は若者言葉なの？「かわいい女優さん」と「美しい女優さん」は、タイプが違う？など、普段何気なく使っている日本語をよく観察してみると、疑問がたくさん出てくると思います。国語学(日本語学)は、日本語を分析対象とした学問分野です。本講義では、日本語の基本的な性質を体系的に概観することにより、自分たちが用いる言語を意識的に考える力をつけることを目的とします。こうした力は、実際に言語を運用する際に、また、他の言語を習得する場合や、異なる文化を背景とする人々とコミュニケーションをとる際などにも基盤になることでしょう。

内容

以下の項目について講義を行う予定です。

国語学(日本語学)にはさまざまな分野がありますが、主に現代日本語について音韻論、文字論、語彙論などを中心に授業を進めていきます。現代日本語を理解するために必要な史変遷についても併せて触れる予定です。できるだけ皆さんのまわりの身近な日本語の例を使って考えていきましょう。

- (1) 世界の中の日本語
- (2) 音声・音韻
- (3) 文字・表記
- (4) 語彙
- (5) 意味
- (6) 文章・文体
- (7) 方言・位相
- (8) 待遇表現(敬語)

評価

ペーパーテスト(50点)、授業中に行う小テスト(30点)、出席状況(10点)、授業態度(10点)によって評価します。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

プリントを配布します。

参考にすべき文献、辞書等については、授業時に紹介します。

科目名	日本語文法（古典語）		
担当教員名	中川 秀太		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

古典文法の基礎を学習することを目的とします。古典文法に対する理解を深めるとともに、現代日本語の文法との共通点・違いなどを学んでいきます。助詞・助動詞をはじめ、現代日本語と異なる点が多く存在するため、それらをしっかり確認しておくことで、実際に古典文学を読む・学ぶ際の理解の助けになるものと期待されます。

内容

古典文法を学ぶのと並行して、いくつかの古典作品を取り上げ、読解を行っていく形式をとります。

基本的な文法項目としては、用言（動詞、形容詞、形容動詞）や体言（名詞・代名詞）の用法、助詞・助動詞の意味・用法、古典の敬語などを扱います。

文学作品としては、竹取物語、土佐日記、古今和歌集など有名な古典のほか、江戸時代の「笑える」短編作品もとりあげる予定です。

評価

出席30%、授業態度20%、テスト50%により、総合的に評価する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

プリントを配布する。

科目名	日本語文法（現代語）		
担当教員名	中川 秀太		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

日本語は多くの日本人にとっては小さなころからずっと話してきた、あるいは書いてきた言葉であるため、十分わかっているし、大人になって勉強することではない、と思う方は案外多いのではないのでしょうか。ですが、「雨が降る」と「雨は降る」で何が違うのか聞かれたら、すぐ答えられるのでしょうか、あるいは「書かせていただきます」「書かさせていただきます」のどちらが正しいのか、理由を説明できるのでしょうか。これらはそれぞれ主語と「は」「が」、それから敬語の問題として扱うことのできる、日本語文法の一部です。また、例えばサッカー選手のインタビューには「まあ」がやけに多く出てくるなという印象を持ったならば、それは言いよどみの問題であり、「えーと」や「あのー」との違いを考えるのも面白いでしょう。

授業では、以上に見たような、日本語文法についての様々な事柄を取り上げ、普段使っている言葉への興味を促すことをねらいとします。

内容

1. 授業ガイダンス
2. 文法について
3. 単語と品詞
4. 格助詞、名詞、自動詞と他動詞など
5. 受け身表現と使役表現
6. 時間に関する表現（現在・過去・未来など）
7. 主語と「は」「が」
8. 断定と推量
9. 疑問文
10. 意志の表現
11. 命令表現
12. 終助詞
13. 言いよどみ、あいづち、応答
14. 敬語
15. 期末試験

評価

出席30%、授業態度20%、テスト50%により、総合的に評価する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

『ここからはじまる日本語文法』（ひつじ書房）

科目名	漢文学を読む		
担当教員名	田中 正樹		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この授業では、日本文学にも大きな影響を与えた中国の古典小説の中から、傾向の異なる短編作品を少しずつ取り上げ、その多様な世界を原文を通して味わうことを目的とする。

原文を扱うが、必ずしも「漢文」が得意でなくても参加できるようにするので、中国古典小説に興味がある学生に受講してほしい。

受講者は漢和辞典を毎回持ってくること。

内容

漢文の基礎が身につくように、易しい文章を読みながら白文・訓読・現代語訳の関係を学ぶ。

- 1．漢文の構造（白文・訓読）
- 2．志怪：中国の怪談
- 3．伝奇小説：唐代の短編小説（恋愛物語・変身譚等）
- 4．公案小説：中国のミステリー

評価

出席・受講態度50%、定期試験50%

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキストは、プリント配布

漢和辞典：持っているものでよいが、中学校以下向きの辞典は不可。

持っていない場合は、『漢辞海（第二版）』（三省堂）などを用意すること。

科目名	漢文学を読む		
担当教員名	田中 正樹		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この授業では、日本文学にも大きな影響を与えた中国の古典小説の中から、傾向の異なる短編作品を少しずつ取り上げ、その多様な世界を原文を通して味わうことを目的とする。

原文を扱うが、必ずしも「漢文」が得意でなくても参加できるようにするので、中国古典小説に興味がある学生に受講してほしい。

受講者は漢和辞典を毎回持ってくること。

内容

漢文の基礎が身につくように、易しい文章を読みながら白文・訓読・現代語訳の関係を学ぶ。

1. 漢文の構造(白文・訓読)
2. 志怪:中国の怪談
3. 伝奇小説:唐代の短編小説(恋愛物語・変身譚等)
4. 公案小説:中国のミステリー

評価

出席・受講態度50%、定期試験50%

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキストは、プリント配布

漢和辞典:持っているものでよいが、中学校以下向きの辞典は不可。

持っていない場合は、『漢辞海(第二版)』(三省堂)などを用意すること。

科目名	書を楽しむ		
担当教員名	小林 弘子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状(国語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

私達の生活する環境には、常に私達の美に対する感性が反映されていると思います。文字についても書き手によって個性的に表現されています。当講座では、私達の祖先が漢字から作り出した美しいかな文字を習います。その上で変体がなや連綿等の方法を取り入れながら、表現を多彩に、豊かにして行きます。

変体がなは漢字の草書体から発展したもので、一音にいくつもの文字があります。紙面の構成を考え、その場に適した文字を探り当てて、おもむきのある表現をすることが、かな書道の勉強法だと思います。

まずは、かな文字が極度に発達した平安時代の古筆(平安、鎌倉時代のかなの名筆を古筆という)の臨書練習から、洗練された筆法や美的センスを学びます。そして〔俳句〕や〔短歌〕などを料紙や条幅などに書いて行きます。雅印を彫り、押印して作品を作り、お互いに鑑賞し、研究を深めたい。

内容

1. かな文字の基本を学ぶ。「いろは」から、二字、三字の連綿書きへと練習していきます。
2. 古筆を習う。高野切古今集、関戸本古今集、三色紙など。
3. 源氏物語絵巻より「鈴虫」の段を臨書し、和綴じをして作品とする。(文化祭に展示する)
4. かな作品用の雅印を彫る。(大字作品用と細字作品用)
5. 料紙や画仙紙に俳句や短歌を書く。字形や字配り、墨色など工夫して書いてみる。
お互いに作品を批評し合い、鑑賞眼を養う。

評価

各作品の評価60点、ペーパーテスト30点、授業態度10点により評価を行い、60点以上を合格とする。
但し、各作品の提出とペーパーテストは共に必須事項。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】大東文化大学書道センター編『書道の古典』(二玄社)

【その他】教材費 約二千元程度必要です。かな用改良半紙は各自用意して下さい。

科目名	ミュージカル論		
担当教員名	清水 玲子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

アメリカやヨーロッパなどと同じく、日本でもミュージカルに対する認識が最近変化しています。

観劇人口も増え、外国の作品だけでなく、日本のオリジナル作品もたくさん上演されるようになってきました。

本講座では、文学・音楽・舞踊・演劇・美術の総合芸術としてのミュージカルの魅力を探ります。オペラが起源といわれ、大衆娯楽文化から芸術文化になるまでの歴史を学びます。

特に音楽を中心に研究し、それぞれの時代の特徴を考察することをねらいとします。

また、ミュージカルの作品の中で、原作のあるものを取り上げ、原作と台本、同じような題材との違いを比較研究します。

内容

17Cに始まったオペラから発展していったといわれるミュージカルを、歴史を通して年代別・作品の形態別・作曲者別の傾向を考察したり対比したりします。

また、アメリカとヨーロッパの作品、日本のオリジナル作品からいくつかの作品を選び分析をします。

ひとつのテーマにつき、1～3週で講義を進める予定。

ミュージカルの歴史

日本のミュージカルの歴史

さまざまなミュージカルの形態について

ミュージカル音楽について（原語の歌詞と日本語歌詞の比較・音の入り方などを研究）

台本・音楽・舞踊などについていくつかの作品を細かく分析

2～3作品を実際に劇場に行き観劇する予定

（今年度は5月ライオン・キング、11月未定 観劇の予定があります）

評価

出席50%、鑑賞した作品に関するレポート50%で総合的に判断します。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

適宜に本、プリント、DVD、CDなどを紹介する。

科目名	宝塚研究		
担当教員名	清水 玲子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

ミュージカルへの関心が高まり、質の高い作品に接する機会がますます増えてきています。本講座では、創立95周年を迎えた日本の少女歌劇である宝塚歌劇団の発期から現在までの歴史的な流れを中心に講義を展開し、音楽表現と身体表現の特質を理解します。特に、大衆性と芸術性・娯楽性の問題や、文藝・音楽・舞踊・演劇などのさまざまな表現の特質を分析し、考察することをねらいとします。

また原作のある上演作品などは、原作本との比較を試みることで宝塚歌劇の特質を理解します。

講義は、本学の教員の他、元タカラジェンヌを特別講師として迎える予定です。

内容

「宝塚歌劇とは何か？」をひとつのテーマに、下記の内容を1～2週ずつ講義を進める。

宝塚歌劇の歴史

宝塚歌劇の文化と小林一三

宝塚歌劇の衣装

宝塚歌劇と経営戦略

宝塚歌劇の作品研究

宝塚歌劇の音楽表現

宝塚歌劇と広告

宝塚歌劇と原作

7月に観劇あり 月組及び宙組公演を予定

評価

出席40%、毎時間提出のレポート60%で総合的に判断する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】江藤茂博・植木朝子・加藤暁子・清水玲子・日向薫 著『宝塚歌劇団スタディーズ』(戎光祥出版)

科目名	芸術文化論		
担当教員名	橋本 克己		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

1. 位置づけ

この科目は芸術文化コースの選択科目(専門教育科目)である。

2. 教育目標

本科目は、思想史上における美と芸術に関する論題を、とくに「美学」の視点から眺めてみようとするものである。現代の日常生活の中では「価値」という座標軸がきわめて不透明になっている。本科目では、古今の思想家の「美的価値」についての理論を概観しつつ、「価値」という意味について考察することを試みる。

内容

15週のうち14週を下記の内容で授業する。最終15週は筆記試験を行う。

1. 「美学」という概念について

- (1) バウムガルテンという思想家の定義
- (2) 「美を創出すること」という意味と「天才的芸術家」の関係

2. ギリシア哲学における「美」の概念

- (1) 「カロカガチア」という言葉をめぐって
- (2) プラトンの「イデア論」と「芸術の創出」という問題
- (3) 「ミーメーシス」という概念の本質
- (4) アリストテレスにおける「美」の概念

3. 近現代の「美」の概念

- (1) カントの『判断力批判』における「美的体験」の分析
- (2) ベンヤミンの美学
- (3) 「コピー」、「模倣」そして「写真」という概念
- (4) 現代人にとっての「美的概念」とは何か

評価

課題と定期試験時に実施する筆記試験により評定を算出する。出席点50：試験50で、合計60以上を単位認定する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

1. テキストは指定しない。適宜プリント等を配布する。
2. 以下の図書が参考になる。
 - 今道友信編著『美学の歴史』(講座・美学の1)(東京大学出版会)
 - 今道友信編著『西洋美学のエッセンス』(ペリカン社)
 - 木幡順三著『美と芸術の理論』(勁草書房)

科目名	編集デザイン		
担当教員名	石黒 教子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

現代社会に暮らす私たちは、様々な表象（イメージ）に囲まれています。それらは「だれか」の意匠であり、知らないうちに私たちの無意識に入り込み、世界観が作られる要因にもなっているのです。

時代や文化の異なる芸術作品、デザインなどを鑑賞しながら、その時代や文化を、想像力をもって推し量り、現在の自分の見方、考え方をつくる手助けになればと考えています。

内容

文字や印刷術、映画、コンピュータによる映像など、メディアを軸に表現・表象（イメージ）の歴史をたどっていきます。表現は時代背景と密接に結びついています。歴史的な背景を考慮し、時代の「心」に少しでも近づけるよう展開していきたいと思っています。また、アーティストやデザイナーにとって、制作の原理 となっている、色彩論（カラーコーディネイト）や視覚心理などについて、簡単な演習を含めて展開していきます。

- ・文字の歴史 アルファベットと漢字
- ・印刷術の発明
- ・ルネッサンスと遠近法
- ・19世紀の大発明「写真」と美術
- ・動く映像 アニメーション始まり
- ・写真から映画へ
- ・3D映像の原理
- ・西洋美術の歴史 キリスト教と美術
- ・中世から近代へ 神から人への視線変更
- ・世紀末のデザインと美術
- ・心理学が美術を変えた - シュルレアリスム
- ・現代の美術
- ・色彩の原理と配色の練習
- ・視覚の法則（ゲシュタルト心理学）

評価

出席点30点、平常点（毎回の提出物）30点、期末テスト40点 により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

科目名	演劇論		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

人々を魅了する演劇はどのように誕生し、継承されてきたのでしょうか。この問題について、日本の伝統芸能、歌舞伎を主に取り上げて検証します。その理由には、次の4点が挙げられます。

歌舞伎が庶民の芸能であったこと。能、狂言の影響を受けていますが、歌舞伎が権力者の庇護下でなく庶民の娯楽として発展した点に注目します。江戸庶民文化の根幹を築き、小説や浮世絵に多大な影響を与え流行の発信源であった歌舞伎を通じ、人々が何を演劇に求めたかを検証します。

神の祭りという宗教的性質があること。神として扱われた人気役者市川団十郎（舞台上からならむと観客が風邪をひかないとされる「ならみ」芸は現在も継承されています）なども取り上げ、信仰と演劇という不可分の問題についての検証を行ないます。

世界で初めて回り舞台を設置するなど、舞台技術、演出面でも多くの特徴がみられること。

商品広告などメディアとしての役割も果たしたこと。社会現象を敏感に反映する姿は現代のマスコミにも共通し、歌舞伎を通じて大衆に向けた演劇の意義を明らかにすることができます。

以上の点をふまえ、能、狂言や西洋演劇、アジアの演劇（中国、韓国、タイなど）との比較も行ない歌舞伎の本質を明らかにします。さらに宝塚やミュージカル、アニメーションにも対象を広げ、エンターテインメントとしての演劇のあり方を検証します。

内容

文献、脚本研究のほか、ビデオ観賞、絵画資料からの検証をまじえ視覚的に演劇をとらえて学びます。絵画資料については、主に浮世絵を取り上げます。2008年には浮世絵の検証をもとに元禄時代の上方の舞台復元（プロジェクトには藤澤も参加）が行われるなど、浮世絵は資料的な価値が高く歌舞伎研究には不可欠な資料です。以下のスケジュールで授業を進めます。

ガイダンス・歌舞伎の特色と歴史

歌舞伎の舞台構造を知る～能舞台の模倣時代から現代のコクーン歌舞伎まで

芝居を創る 元禄上方和事復活上演までの軌跡

市川団十郎と江戸の信仰

人形浄瑠璃と歌舞伎 「義経千本桜」の狐忠信

能と歌舞伎舞踊 「道成寺」「土蜘蛛」など

歌舞伎と広告 「外郎売」など

浮世絵に見る歌舞伎 歌舞伎役者の人気を知る

歌舞伎の海外公演 パリオペラ座公演・平成中村座ニューヨーク公演

歌舞伎と海外の演劇（1）京劇（中国）・パンソリ（韓国）・リゲー（タイ）等アジアの芸能

歌舞伎と海外の演劇（2）シェイクスピアと蜷川幸雄

海外の演劇（1）「ロミオとジュリエット」

海外の演劇（2）ミュージカル「ウエストサイド物語」

現代の演劇 宝塚「ベルサイユのばら」に見る華麗な舞台

現代のアニメーション 「千と千尋の神隠し」と日本文化

評価

毎時間の授業に関するコメント提出と、学期末にレポート提出を課します。配点の比率は、授業時のコメント30%、試験70%とし、60点以上を合格とします。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】なし。【参考書】開講後に指示。

授業時には毎回プリントを配布します。

科目名	仏教美術		
担当教員名	平野 多恵		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

仏教美術の多くは、仏教経典の理論的な裏付けのもとに制作されている。本講義では、仏像を中心として、日本の仏教と美術の関わり合いを明らかにしながら、仏像についての基礎知識を身に付けることを目的とする。

内容

以下のようなテーマで講義を行う。

第1回 仏教とは

仏教美術を生み出す母体となった仏教に関する基礎知識を概説。

第2回 仏教美術とは

仏教美術とはどのようなものを概観

第3回 仏教美術の発生

仏像をはじめとする仏教美術が作られるようになった背景を概説。

第4回 仏像の世界

仏像の種類は「如来・菩薩・明王・天」の四種に大きく分けられる。それぞれの違いを解説しながら、仏教の世界観と仏像の種類を概観する。

第5～7回 如来

第8～10回 菩薩

第11・12回 明王

第13・14回 天

代表的な仏像を鑑賞しつつ、その背後にある信仰や教理、時代による制作技法の違い等を理解する。

第15回 試験

講義にあたっては、スライドやDVDなどの視覚的な資料を用いて出来るだけ具体的に理解できるようにする。また、理解を深める資料として、神仏の登場する文学作品を適宜取り上げる。

評価

平常の受講態度(10点)、授業中に提出するリアクションペーパー(30点)、学期末試験(60点)により総合的に評価する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキストはプリントを用意する。

科目名	日本の芸術理論		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本の古典的な文学論・芸術論を、時代を追って眺めてゆく。西欧の芸術論はアリストテレスの『詩学』をその始祖とし、以後の芸術学や美学は哲学的方法と科学的方法等があったが、それらは体系的である。日本の文学論・芸術論はより実作に即して、片言隻語的であるが、そこになお珠玉のように光る芸術の真理を伝えていて、興味深いものがある。能楽論の『風姿歌伝』には、「此の芸におひて、大方、七歳をもて、初めとす・・・うち任せて、心のまゝに、せさすべし」と初心者稽古の注意を語っている。それぞれの文学論・芸術論の特色を楽しみつつ、原典に即して読んでゆく。また、今道友信著『美について』を、副読本として毎回読みながら、日本と西洋の美学の研究史と基本文献を視野にいれつつ、授業を行ってゆきたい。

内容

- 1・2 序 芸術論概論 日本と西洋 / アリストテレス『詩学』から
- 3・4 歌論 藤原公任『新撰髓脳』『和歌九品』 / 藤原清輔『奥儀抄』 美の発見(は『美について』)
- 5.6 歌論 藤原定家『毎月抄』 / 鴨長明『無名抄』 美の理解
- 7 連歌論 二条良基『連理秘抄』 / 心敬『さゝめごと』 芸術の力
- 8 連歌論 宗祇『吾妻問答』 / 宗長『連歌比況集』 芸術の理念
- 9 能楽論 世阿弥『風姿花伝』『申楽談儀』 芸術の源泉
- 10 茶道 『南坊録』 芸術の社会的機能
- 11 華道 『立花大全』『投入花伝書』 人格の美
- 12 俳論書 去来『去来抄』『旅寝論』 美の経験
- 13 俳論書 土芳『三冊子』 / 支考『俳諧十論』 最高の価値としての美
- 14 『作庭論』『五輪書』『古今役者論語魁』 VTR
- 15 番外編 マリア像の歴史的な変遷(ビジュアルに)

評価

出席30点、授業態度20点、レポート(または創作)50点などの評価により、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

- 【教科書】今道友信著『美について』(講談社現代新書324) / その他、毎回プリントを配布する。
- 【参考書】川勝平太著『美の文明をつくる』(ちくま新書・2002年)
- 九鬼周造著『「いき」の構造』(岩波文庫・1979年)

科目名	情報社会文化論		
担当教員名	加藤 暁子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

現代社会は、さまざまな手段で情報を得ることが出来ます。テレビ・インターネット・新聞や雑誌などのさまざまなメディアを通じて、あらゆる人々が自由に発信し、生活の中に知らず知らずに入って来るたくさんの情報。そんな情報社会のシステムを把握し、論じることについての正しい視点と自発的に表現することができる力の習得を目標とします。

インターネットの普及等により瞬時に世界中の情報も得ることができます。また携帯端末が充実し、ワンセグの登場によりインターネットのみならず、テレビ番組までも端末で見ることができたり、お財布としても利用できるようになりました。いつでもどこでも、好きなだけ情報を得られるようになった今日だからこそ、より正しい情報を得られるように、感覚を研ぎ澄ましていきましょう。そのために、各メディアごとに検討し、情報を文化的にとらえる力を養い、情報社会に押し流されないように、知識を広げましょう。そして、新しい情報に翻弄されないよう、既存の文化を大切にしつつ、その上で新しい情報社会を正しく受け入れられるような方向性を一緒に考えていきましょう。

内容

1. 情報社会におけるメディアの役割
2. メディアを利用してできること
3. 各メディアが社会に与える影響力
4. メディアとは、なにか 効果のあるメディアの使い方とは・・・?
5. インターネットの普及によって社会はどう変化したか
6. 情報の流れのシステムについて
7. 正しい情報、正しくない情報はどのようにして生まれるか
8. 課題：現代社会で起きていることを自分の力で解説する
9. テレビとインターネットの、影響力の違い
10. 海外から見た日本のメディアとは
- 11~12. 時事用語について学び、社会を知る
13. 時事用語から見る世界の動き
14. 情報社会の実態 間違った情報
15. 復習と簡単なテスト

評価

毎回行う小レポートまたはディスカッションで70点(5点×14回)、最後に行うテスト10点、レポート20点

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書・推薦書については、授業中に紹介致します。

教材は、最新の情報などを、毎回プリントで配布致します。

科目名	ライフデザイン		
担当教員名	宮城 道子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

高齢社会は、多くの方が長生きできる社会であると同時に、加齢による生活変化が誰にでも予想しえる将来となったことによって、高齢者福祉（特に介護問題）を誰でもが共有する問題とすることができた。さらなる少子高齢社会は、人口減少社会でもある。価値観の多様化と格差の拡大によって、人びとは生活の豊かさという共通イメージをもつことがむずかしくなっている。そのような社会の変化のなかで、自らの未来をどのように予測し、準備するかを考えるのは、若い女性の自立に欠かせない。社会人として直面する生活課題への対応を、ライフデザインのなかにどのように位置づけるかを学ぶ。

内容

少子高齢社会の現状を理解し、社会保障や社会福祉の制度改革のもと、現代の若い女性のライフデザインを検討する。とくに、人生の節目（ライフステージ）ごとの社会サービスの利用の可能性を検討する。

1. 女性のライフサイクル - 祖母の人生・母の人生
2. 時代とライフステージ
3. 高学歴化と職業
4. 皆年金・皆保険
5. 雇われる働き方のオールタナティブ
6. 介護の社会化と住宅
7. 最後のセーフティネット

評価

受講態度（10点）、授業中の課題（30点）、レポート（60点）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は初回授業時に示す。推薦書は、適宜紹介する。

科目名	地域文化論		
担当教員名	宮城 道子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

産業化・工業化・都市化・情報化等によって、私たちの暮らしは豊かになり、メディアやインターネットの普及は、全国どこでもほしい情報が得られる環境を作り上げた。しかし、少子高齢化はさらに進み人口減少社会にはいった。特に地方では過疎がすすみ、地域固有の生活文化は失われつつある。一方、都市住民の中には、田園志向、農業回帰の生活ニーズが生まれつつあり、食の安全にかかる事件の続発によって、その傾向は強まっている。地方における暮らしや文化、中央と地方の関係、グローバル社会におけるコミュニティといった問題を地域の側から考えるために、農業女性が取り組んだ活動に学ぶ。

内容

今年度テーマ：女性農業者のネットワークから学ぶ

農業女性として生きる道を選び、地域からの情報発信と農業女性の全国的ネットワークを実現した「田舎のヒロインわくわくネットワーク」の活動に学ぶ。農業という職業を通じて、食べ物や生き物の大切さを知る女性たちが、社会を変えるために何をしたのか、身近な女性の生き方から理解する。

1. 導入 - 都市と農村・中央と地方
2. 農村女性をとりまく環境とあらたな活動の現状
3. テキストおよび著者紹介
- 4.-5. テキスト 第1章 森の学校に集まれ
- 6.-7. テキスト 第2章 女性が動けば世の中が動く
- 8.-9. テキスト 第3章 ヒロインは新しい農のパイオニア
- 10.-11. テキスト 第4章 株を買って総会にいこう
- 12.-13. テキスト 第5章 黙ってなんかいられない
14. 女性たちの地域参画とエンパワーメント
15. まとめ - レポート報告と講評

評価

出席および受講態度(20点)、レポート(80点)とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書：やまざきようこ『田舎のヒロインが時代を変える』家の光協会 2004

推薦書：山崎洋子『田舎暮らしに夢のせて - 女のネットワーク誕生物語』家の光協会 1995

WAN編集・発行『生きることの中に「農」があった - 山崎洋子さんの場合』2001

WAN編集・発行『「嫁」が経営主になった - 熊崎美保子さんの場合』2001

WAN編集・発行『農業は私の職業だ！ - 清水照子さんの場合』2002

田舎のヒロインネットワーク編『雪印100株運動 - 起業の原点・企業の責任』創森社 2004

科目名	福祉メディア論		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

人間は五感を持つことができる。しかし、ヘレン・ケラーは三つの感覚がなかったが、サリバン先生との出会いによって、充実した時間を生きた。たとえば、一つの感覚がないということは、他の四つの感覚が研ぎ澄まされ、それはまた<人間としての大きな個性>といえるのではないだろうか。

この授業では、特に<視覚障害があったにもかかわらず、歴史のなかで個性が輝く大きな事をなした人々>について、たどってみたい。

まず、2009年度のヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールで優勝した辻井伸行氏がいる。また、ヴァイオリンには川島成道氏もいて、これらの音楽を聴きたい。江戸時代には、埼玉県の子供で全盲の国学者である塙保己一(はなわほきいち)がいて、41才から74才までに『群書類聚』(530巻・1270種)を、幕府の援助で刊行した。

また、<世界と日本の点字図書館>の誕生と現状を学びたい。日本点字図書館は1940年(昭和15年)に、全盲の本間一夫氏により、民間の福祉施設として東京都に設立された。そのことについては、岩波新書に詳しく書かれている。現在は、コンピュータ化がすすみ、また「点字図書と朗読図書」が二つの主要な分野としてある。イギリスのNBLやアメリカのMLSなどの海外の事情も知りたい。

素晴らしい個性のありかを追いかけて、点字図書館の見学を通してなにかお手伝いできればと思う。

内容

- 1 序 個性的な人間と盲教育
- 2～5 ヘレン・ケラーの生涯
- 6～7 [現代の音楽家/辻井伸行・川島成道] [江戸時代/塙保己一・望一・玄々]
- 8～10 [本間一夫の生涯と日本点字図書館/海外の点字図書館事情]
- 11～13 [朗読のレッスン/ゲスト講師による/子供への読み聞かせ]
- 14 VTR 「奇跡の人(ヘレン・ケラー)」(アカデミー賞受賞)
- 15 課外見学

* 課外授業 日本点字図書館の見学(高田馬場)

評価

出席30点、授業態度(ディスカッションなど)10点、見学会10点、レポート50点などにより評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業の時に紹介する。プリントも配布する。

科目名	王朝文化とメディア		
担当教員名	赤間 恵都子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

現代社会のように様々な通信手段が発達していない1000年前の王朝社会において、私たちの祖先はどのように情報を伝達していたのだろうか。不便そうに思える時代の中で、しかしだからこそかえって繊細で優雅な趣向が工夫され、見事なメディア文化が発達していたことを数々の古典文学作品は示してくれる。心遣いのかけらもないような軽い情報が数多く飛び交い、とどまることを知らないかに見える現代の情報化社会の中で、私たちの祖先が育てた王朝文化の高度なメディアテクニックを振り返り、本当に良いメディアとは何かを考える契機にしてほしい。

内容

王朝時代の通信メディアとして、手紙の種々相を、日記文学を中心とする作品の中から取り上げ、その方法や効果について考える。また、それぞれの作品の作者と時代についても学んでいく。

1	ガイダンス 王朝文化のメディアとは
2	蜻蛉日記 作者と作品について
3	蜻蛉日記 恋愛と結婚の文
4	蜻蛉日記 菊の折り枝
5	蜻蛉日記 日常的な文
6	和泉式部日記 作者と作品について
7	和泉式部日記 恋の始まり
8	和泉式部日記 恋愛の贈答歌
9	枕草子 文具・文使いなど
10	枕草子 中宮からの文
11	枕草子 男性貴族との贈答
12	源氏物語 折り枝の贈答
13	源氏物語 近江の君の文
14	源氏物語 筋の展開に作用する文
15	まとめ

評価

平常点40点とレポート60点で、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】テキストはなし。授業は配布するプリントによる。

【推薦書】新編日本古典文学全集『蜻蛉日記他』『和泉式部日記他』『枕草子』『源氏物語』

(小学館)

『女流日記文学講座』(勉誠出版)

『源氏の恋文』尾崎左永子著(求龍堂)

その他、各作品個々の参考文献は数多くあるので、必要に応じて授業で紹介する。

科目名	美術デザイン		
担当教員名	平田 智久		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

デザイン(Design)とは、視覚や触覚を駆使して自己表現し生活を豊かにする営みのことである。狭い意味の模様作りやイラスト作成とは異なる。さらにデザインは【視覚言語】としてのコミュニケーション(Communication)媒体でもある。つまり非言語のコミュニケーション=Non Verbal Communicationとして重要な手段である。そうした日常性の中にある視覚的な効果や影響力について認識を新たにすることや、自らが受け手であり発信者であることを自覚することが本授業のねらいである。

また、デザイナーとしての専門教育を目的としていない。「人間にとって造形性は必要である」ということに視点をおき、形や色彩に関わる概念を再認識し、自らが造形することの喜びを体感することもねらいのひとつともいえる。既成概念からの離脱を図り、新たな造形性を発揮し造形的思考力を高められることを望む。

内容

造形行動は物的な材料を媒体として実現するものである。意図的な制作や構成を行う前に、物のもつ性質や可能性を直接体験を通して感受する必要がある。そこで次のような演習から視覚的変容を体験する。

- ・錯視(=イリュージョン Illusion)の試み
- ・コンパスで構成する試み
- ・色彩と形、その相関関係の試み
- ・立体空間表現への挑戦

などを織り交ぜながら、年間演習を通して行う。

評価

主に講義内容の理解度により判断する。作品の上手い下手での評価ではない。挑戦している演習態度も考慮に入れる。(意欲的取り組み30%、スケッチブックの内容70%)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に定めない。

推薦書については時に応じて適宜授業内で紹介する。

科目名	アニメーション		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

1年次の情報処理演習を踏まえて、そこで習得したコンピュータのスキルをさらに発展させることを狙う。それゆえに、1年次の情報処理演習の単位を修得していることが必要である。まず、アニメーションに対して、心理学的な考察、物理学的な考察、数学的な考察を行う。それらを踏まえた上で、サウンド、写真などを盛り込んだ、アニメーションを作成する。特に、折り紙の折り方を教える、手話を教えるなど教育的な目的をもったアニメーションを作成する。

内容

1．オリエンテーション

2．心理学的な考察(1)

人間に連続的に見えるアニメーションの原理について、視覚心理学的な考察を行う。

3．心理学的な考察(2)

アニメーションにおいて欠かせないサウンドについて、聴覚心理学的な考察を行う。

4．心理学的な考察(3)

アニメーションの技法においては、視覚情報と聴覚情報のずれなどを利用することが多い。視聴覚の相互作用について考察を行う。

5．物理学的な考察

色彩、サウンドを扱うためには、物理学的な知識が必要であるので、その初歩を学ぶ。

6．数学的な考察

3次元のアニメーションを作成するためには、3次元空間に関する「感覚」が必要である。その感覚を養う。

7．ペイント系ソフトウェアの基本的な学習(1)

8．ペイント系ソフトウェアの基本的な学習(2)

9．ドロー系ソフトウェアの基本的な学習(1)

10．ドロー系ソフトウェアの基本的な学習(2)

11．映像系ソフトウェアの基本的な学習(1)

12．映像系ソフトウェアの基本的な学習(2)

13．サウンド系ソフトウェアの基本的な学習(1)

14．サウンド系ソフトウェアの基本的な学習(2)

15．アニメーションの作成

教育的な目標を一つ設定し、簡単なアニメーションを作成する。

16．まとめ

評価

毎回提出してもらおうレポート、150点満点(15回X10点満点)で、90点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	映像表現法		
担当教員名	岡崎 正義		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

高度情報社会の中で、TV、映画、インターネットなど「映像」はあらゆる分野で、その役割をはたしています。

映像は見るだけでなく、自ら「撮る」機会もふえてきました。

特にデジタル技術の進歩によって、軽量小型で高画質なデジタルカメラやビデオカメラが市場にでまわり、個人の生活の中にも「映像」が身近なものになってきています。

デジタルカメラとデジタルビデオカメラによる撮影実習をすすめる中から「映像表現」を体験し、具体的、実践的に映像について理解を深めていきます。

氾濫する映像情報の中から必要なものを選択する目を養い、的確な映像表現ができるようになることをねらいとします。

内容

- 1．オリエンテーション
- 2．写真1 まず撮ってみよう
- 3．写真2 シャッターチャンス、フォーカス、絞り、ポジション
- 4．写真3 画角(写角)、構図、光の質と方向
- 5．写真4 テーマを決めて撮る
- 6．写真5 デジタルで保存する
- 7．写真の良さ。 ビデオの良さ。
- 8．動画から生まれた
- 9．長さ(時間)の要素
- 10．音を効果的に使う
- 11．アングルを変え、サイズを変え、多角的に
- 12．被写体が動く。 カメラとVTRが動く。
- 13．編集の役割
- 14．レポートについて
- 15．まとめ

評価

実習による評価と期末に掲示された課題によるレポート。出席状況も評価の対象とする。

出席40点、実習30点及びレポート30点の合計で評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

必要な教材は、その都度、資料として配布する。

科目名	映像表現法		
担当教員名	岡崎 正義		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

高度情報社会の中で、TV、映画、インターネットなど「映像」はあらゆる分野で、その役割をはたしています。

映像は見るだけでなく、自ら「撮る」機会もふえてきました。

特にデジタル技術の進歩によって、軽量小型で高画質なデジタルカメラやビデオカメラが市場にでまわり、個人の生活の中にも「映像」が身近なものになってきています。

デジタルカメラとデジタルビデオカメラによる撮影実習をすすめる中から「映像表現」を体験し、具体的、実践的に映像について理解を深めていきます。

氾濫する映像情報の中から必要なものを選択する目を養い、的確な映像表現ができるようになることをねらいとします。

内容

- 1．オリエンテーション
- 2．写真1 まず撮ってみよう
- 3．写真2 シャッターチャンス、フォーカス、絞り、ポジション
- 4．写真3 画角(写角)、構図、光の質と方向
- 5．写真4 テーマを決めて撮る
- 6．写真5 デジタルで保存する
- 7．写真の良さ。 ビデオの良さ。
- 8．動画から生まれた
- 9．長さ(時間)の要素
- 10．音を効果的に使う
- 11．アングルを変え、サイズを変え、多角的に
- 12．被写体が動く。 カメラとVTRが動く。
- 13．編集の役割
- 14．レポートについて
- 15．まとめ

評価

実習による評価と期末に掲示された課題によるレポート。出席状況も評価の対象とする。

出席40点、実習30点及びレポート30点の合計で評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

必要な教材は、その都度、資料として配布する。

科目名	落語研究		
担当教員名	木村 義之		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本の大衆芸能のひとつである落語について考える。若い人たちにとっては「食わず嫌い」で敬遠されることの多い落語が少しでも身近な存在となるようにしたい。

内容

本講義では主として三遊亭円朝が確立したとされる近代以降の東京落語を中心とする。あわせて、漫才・コントなどの芸能についてもふれることがある。VTRなどを用いた落語鑑賞や、実際に寄席・演芸場に出かけていくこともある。

前期：1.日本人の笑い 2.寄席のしくみ 3.落語の構造

後期：1.落語のことば 2.落語と色物 3.漫才・コントなど 4.落語の歴史と将来

評価

出席50%、受講態度20%、前期・後期のレポート30%による。レポートは、実際に寄席・演芸場に行き、生の芸を体験したことをベースに作成してもらう。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】三遊亭円楽監修・山本進編『落語ハンドブック』(三省堂)

【推薦書】桂米朝『落語と私』(文春文庫)

科目名	映像論		
担当教員名	江藤 茂博		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

映像の物語の歴史、映像の物語の現在、そして映像の物語の分析方法を、文芸理論との関連で考えていくことにする。特に、映像の物語は、受容者にどのような世界を差し向けているのか、それを受容者はどのように受容するのかを考察することになるだろう。

内容

前期は「時をかける少女」の小説・映画・テレビドラマ・マンガをテキストとして使う。

前期 映画の歴史

前期 映画の理論

前期 映画から映像へ

前期 映像作品の分析理論

前期 ~ テキスト分析

前期 まとめ

後期は岩井俊二の映像作品をテキストとして使う。

後期 ~ テキスト分析

後期 まとめ

評価

出席50%、レポートとペーパーテスト50%

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)